

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200800427 2008-1066 2008/02/14 (事故発生地) 兵庫県	エアコン ダイキン工業株式会社 FHYCJ140F	店舗で使用していた当該製品から発煙していたので、消火した。 (火災)	事故原因は、長期使用(約13年)で当該製品の室外機のクランクケースヒーター(圧縮機の油溜り部分に取り付けてある電気ヒーターで、潤滑油への冷媒の溶け込みを防止するもの)が絶縁劣化によって断線したことで室外機の圧縮機に漏電が生じたことに加え、当該製品設置時に漏電ブレーカーが設置されておらず、また、接地工事が適切に実施されていなかったため、当該製品(室内機)に配管から漏洩電流が流れて、当該製品を焼損したものと考えられた。なお、据付説明書において、事故の原因になる旨警告し、漏電ブレーカーの設置と適切な接地工事について指示を行っている。	ダイキン工業株式会社では、使用者等に対して、平成21年7月17日よりホームページで漏電ブレーカーの設置の確認及び電気工事業者への相談を推奨している。経済産業省原子力安全・保安院では、関係者に対して漏電ブレーカーの設置及び点検を要請している。	(受付:2008/07/25)
A200800512 2008-1754 2008/08/03 (事故発生地) 東京都	携帯型音楽プレーヤー アップルジャパン株式会社 iPod nano MA099J/A	当該製品を充電中に、当該製品が過熱して外装ケースが変形して開口し、下に置いてあった紙が焦げた。 (火災)	事故の原因は、当該製品のバッテリーセル内部に製造上の不具合があったために、充放電を繰り返すうちにセル内部の絶縁部が劣化し、バッテリーが内部短絡を起こし過熱に至ったものと考えられた。	アップルジャパン株式会社では、平成22年8月10日よりホームページにおいて、2005年9月から2006年12月の間に販売された初代 iPod nano のバッテリーが過熱を起こすことがあるため、使用者に対しバッテリーの無償交換を呼びかけている。また、登録ユーザーに対して、電子メールによって当該製品に対する注意喚起とバッテリーの交換手続きについて連絡を行っている。	(受付:2008/08/14)
A200800626 2008-2613 2008/09/12 (事故発生地) 北海道	換気扇 日本電興株式会社 NVF-15	当該製品及びその周辺が焼損する火災が発生した。 (火災)	事故原因は、長期間使用(20年以上)により、モーターのコイルが絶縁劣化し、層間短絡が生じて発火したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。事業者はホームページで使用上の注意喚起を実施	(受付:2008/09/19)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200800641 2008-2864 2008/09/19 (事故発生地) 山口県	電気洗濯機 東芝ホームアプライアンス株式会社 AW-B80VP	当該製品を運転中に外出して、しばらくして戻ってくると、当該製品の右後部から発煙・発火していた。 (火災)	事故原因は、当該製品の漏電検知回路基板にはんだ付けされたジャンパー線の先端が製造時の不具合によって変形していたため、基板上の絶縁距離が短くなり、トランジスター充電部との間でトラッキング現象が生じて、出火に至ったものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/09/30)
A200800655 2008-2911 2008/09/14 (事故発生地) 東京都	電気洗濯機 パナソニック株式会社 NA-F42S1	屋外に設置していた当該製品周辺が焼損する火災が発生した。 (火災)	○当該製品は著しく焼損しており、樹脂部が溶融しコントローラー基板、モーター、内部配線等の部品が埋もれた状態であった。 ○当該製品の右側上部後方にある内部配線に溶融痕が認められたが、溶融痕のあった箇所は外力が加わり難い部分であった。 ○溶融痕があった内部配線の前方に配置されたコントローラー基板は、溶融した樹脂に覆われて焼損し一部焼失していたが、残存していた銅箔パターンに出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品の焼損が著しく、内部配線の溶融痕は一次痕、二次痕の特定ができず、さらにコントローラー基板が一部焼失しており確認できなかったため、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/10/01)
A200800656 2008-2912 2008/09/19 (事故発生地) 静岡県	電気冷蔵庫 パナソニック株式会社 NR-315TG	当該製品を置いている物置から出火する火災が発生した。 (火災)	○当該製品はコンプレッサーがある下部から焼損した痕跡が認められた。 ○コンプレッサーに付属する始動リレー及びオーバーロードリレーのリード線に溶融痕が認められたが、一次痕、二次痕の判別はできなかった。 ○当該製品は、調査の過程で廃棄されていた。 ●事故原因は、当該製品下部にあるコンプレッサーに付属する始動リレー及びオーバーロードリレーのリード線がショートし、出火したものと推定されたが、当該製品は既に廃棄されており、製品起因か否かも含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/10/01)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	経 済 産 業 省 又 は 消 費 者 庁 受 付 年 月 日
A200800689 2008-3075 2008/09/23 (事故発生地) 愛知県	電気冷蔵庫 三菱電機株式会社 MR-J37R	当該製品周辺が燃える火災が発生した。 (火災)	調査の結果、 ○当該製品は焼損が激しく、樹脂部分は全て焼失していた。 ○背面下部のコンプレッサーやコンプレッサーに付属する始動リレー、オーバーロードプロセッサ等の電気部品には出火の痕跡は認められなかった。 ○電源コードは回収されておらず確認できなかった。 ●事故原因は、現場状況から、当該製品付近から出火したものと考えられるが、焼損が著しく、確認できない電気部品があるため、製品起因か否かも含め、原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/10/09)
A200800856 2008-3632 2008/11/12 (事故発生地) 東京都	食器洗い乾燥機（ビルトイン式） リンナイ株式会社 RKW-V45A	当該製品を使用中、発煙した。 (火災)	事故の原因は、水槽と乾燥用給気ダクトの接合部からの水漏れにより底カバーに水が溜まり、通常よりも垂れ下がった位置に配線されていたポンプ用コネクタが水に濡れたことによりスパークが生じ、コネクタの一部が焦げて発煙したものと考えられる。	製造事業者は、ポンプ用コネクタの組み付け方法につき、組立工程における作業指導及び確認作業の徹底を行った。	(受付:2008/11/21)
A200800911 2008-3798 2008/11/21 (事故発生地) 東京都	ミシン 株式会社ジャガーインターナショナルコーポレーション KM-061	当該製品を使用して、しばらくすると、焦げた匂いと発煙したため、電源を切つて、戸外に出すと発火した。 (火災)	調査の結果、速度調整つまみとその上部の外郭が焼損・溶融し、内部の電気部品は速度調整基板部のみの焼損であるが、基板に取り付けられている可変抵抗器の接点部の焼損が著しく、出火の原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/12/01)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800998 2008-4156 2008/12/17 (事故発生地) 大阪府	エアコン ダイキン工業株式会社 AN28JKPS-W	火災が発生し、1名が重傷を負った。火災現場に当該製品があった。 (火災 重傷 CO中毒)	調査の結果、 ○当該製品は全体が焼損しており、外郭樹脂が焼失していた。 ○当該製品内部の電気部品、内部配線に熔融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○電源コードは途中で断線しており、断線部に熔融痕が認められたが、一次痕であるか二次痕であるかの特定はできなかった。 ●事故原因は、当該製品の電源コードに熔融痕が認められたが、一次痕であるか、二次痕であるかの特定はできなかったことから、出火元は不明であり、製品起因か否かも含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/12/24)
A200801008 2008-4234 2008/12/12 (事故発生地) 埼玉県	電気毛布 日本電熱株式会社 NS-75	当該製品のスイッチを入れたまま外出したところ、当該製品の周辺が焼損する火災が発生した。 (火災)	調査の結果、 ○当該製品はヒーター部分(毛布)がほぼ焼失していたが、電源プラグと本体側コネクタとの間にあるコントローラー部の外郭は焼損せずに残存していた。 ○ヒーター線は被覆が焼損して絡まり、数カ所断線した状態になっており、毛布近傍のヒーター線は感熱線と短絡していた。 ○基板上の温度ヒューズが溶断していた。 ○当該製品は、調査の過程で廃棄されていた。 ●事故原因は、長期使用(約23年)により、ヒーター線が絡み合っていたことと、ヒーター線の絶縁被覆が劣化していたため、温度ヒューズが溶断し通電が停止する前にヒーター線間で短絡が生じ、その火花が毛布に出火したものと推定されたが、当該製品は既に廃棄されており、製品起因か否かも含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/12/25)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200801014 2008-4236 2008/12/04 (事故発生地) 香川県	電気フライヤー 象印マホービン株式会社 EFK-A10	電源を入れたまま放置していたところ出火した。 (火災)	調査の結果、 ○当該製品の本体胴部の外側にはタール状になった油の付着が認められたが、鍋セットの内側には油の付着は認められなかった。 ○当該製品は、温度調整ツマミ、電源端子板及び操作パネル等の樹脂部が焼失していたが、内部の電気部品等には出火の痕跡は認められなかった。 ○油温調節用サーモスタットの接点に荒れが認められたが、動作温度には異常は認められなかった。また、温度ヒューズは溶断していなかった。 ●事故原因は、当該製品のサーモスタットの一時的な接点溶着等により油が過熱して発火した可能性が考えられたが、温度ヒューズに異常は認められず、当該製品の使用状況等も不明であることから、製品起因が否かも含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/12/26)
A200801015 2008-4532 2008/11/03 (事故発生地) 奈良県	照明器具 東芝ライテック株式会社 FCZ-1967	当該製品付近から発火し、下の敷物が焼損した。 (火災)	調査の結果、 ○当該製品は蛍光灯をセットするためのランプホルダーと本体とを接続するコネクタ端子周辺の樹脂が変色し、一部炭化しており、コネクタ端子の接触金具にスパーク痕が認められ、接触金具間の間隔が広がっていた。 ○基板のコネクタ部分及びランプホルダー内の3.2W側ピン受け金具近傍のパターン銅箔が焼失していた。 ●事故原因は、当該製品のランプホルダーと本体とを接続するコネクタ端子が、部品不良やランプ交換時にコネクタ端子に異物が挟まったこと等により接触不良が生じ異常発熱し、出火したものと推定されたが、使用状況が不明であり、製品起因が否かも含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/12/26)
A200801019 2008-4239 2008/11/27 (事故発生地) 埼玉県	電気毛布 松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社) DB-U23S	当該製品及びその周辺が焼損する火災が発生した。 (火災)	○当該製品の毛布生地には、ヒーター線に沿って焼損が認められたが、ヒーター線に溶融痕は認められなかった。また、焼損部分から離れた部分にも、ヒーター線に沿って毛布生地が焦げている部分があった。 ○ヒーター線が異常過熱した場合は、160℃で温度ヒューズが溶断し、通電が遮断されるが、コントローラー内の温度ヒューズは溶断しておらず、また、コントローラーに損傷はなく、同等品に取り付けたところ、正常に作動した。 ●当該製品のヒーター線が過熱した様相を呈しているものの、ヒーター線やコントローラーに異常が認められないことから、出火元を含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/12/26)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200801058 2008-4394 2008/12/30 (事故発生地) 神奈川県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） エスケイジャパン株式会社 SKJ-1005M	火災が発生し、現場に当該製品があった。 (火災)	調査の結果、 ○当該製品は、著しく焼損していた。 ○出力切替用のブリッジダイオードには、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかったことから、リコール事象とは異なるものと考えられた。 ●事故原因は、当該製品の焼損が著しく製品起因か否かも含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/14)
A200801134 2008-4949 2009/01/10 (事故発生地) 東京都	コンセント 松下電工株式会社(現 パナソニック電工株式会社) WN1302	当該製品にコーナータップを介して複数の電気製品を使用していたところ、発煙した。消火の際1名が軽傷を負い、2名が煙を吸ってのどを痛めた。 (火災)	調査の結果、 ○当該製品とコーナータップが焼損していたが、コーナータップに差し込まれた化粧台の電源プラグは、一部が熱溶融しているだけであった。 ○当該製品内部の錠ばねが第一ばね、第二ばね共に電線接触部分で溶融していた。 ○当該製品への電線の差し込みは適正であった。 ●事故原因は、当該製品の電線接続部で接触不良による異常発熱が生じたため、出火に至ったものと考えられるが、電線に差込不足は無く、接触不良が生じた理由は不明であり、製品起因か否かも含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/23)
A200801136 2008-4615 2009/01/02 (事故発生地) 神奈川県	電気毛布 株式会社広電(株式会社山善ブランド) 不明(YMK802又はWK802) (株式会社山善ブランド)	火災が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。 (火災 死亡)	調査の結果、 ○当該製品は毛布部分がほぼ焼失していた。 ○コントローラー内の基板にあるサイリスタは、破損し、内部で短絡していた。 ○基板上の温度ヒューズ一体型抵抗内の温度ヒューズが溶断していたが、抵抗には異常は認められなかった。 ○同等品により、毛布接続コードのヒーター接続線が短絡した場合の再現試験を行った結果、温度ヒューズが溶断すると共に、サイリスタが破損した。 ●事故原因は、当該製品のコントローラー内の温度ヒューズが溶断しており、ヒーター線又は毛布接続コードのヒーター接続線が短絡し出火に至った可能性があるが、毛布部分が著しく焼損していることから、製品起因か否かも含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/23)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200801152 2008-2989 2008/09/30 (事故発生地) 愛知県	水槽用サーモスタット 共栄アクアテック株式会社 300-H	火災が発生した。事故現場に当該製品があった。 (火災)	調査の結果、当該製品の温度センサー内部のサーミスターとリード線のはんだ付けに不具合があったため、連続通電により接触不良が発生し、トライアック（ヒーターへの電力量を制御する電子部品）への制御信号に不具合が生じ、トライアックが異常過熱し、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/26)
A200801165 2008-4674 2009/01/15 (事故発生地) 三重県	充電式電動工具 松下電工株式会社（現 パナソニック電工株式会社） EZ902（電池パック） EZ0023（充電器）EZ503又はEZ502（本体）	火災が発生し、1名が避難の際に軽度の火傷を負った。事故現場に充電中の当該製品があった。 (火災)	調査の結果、 ○当該製品の電池パック及び充電器が置かれていた付近から出火していた。 ○当該製品は事故現場から回収されなかった。 ○同等品を用いて、過充電、電池漏液によるトラッキング、充電器の入力部のショート、電池の外部短絡を想定した試験を行ったが再現しなかった。 ●事故原因は、電池パックを充電していた充電器付近からの出火とみられるが、当該製品は回収されておらず、詳細な調査ができなかったことから、出火元は不明であり、製品起因か否かも含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/28)
A200801168 2008-4676 2009/01/21 (事故発生地) 埼玉県	布団乾燥機 信菱電子株式会社（三菱電機ホーム機器株式会社ブランド） AD-770系	火災が発生した。事故現場に当該製品があった。 (火災)	調査の結果、 ○当該製品は焼損が著しく電源プラグの栓刃を含め、制御基板、タイマー、切替スイッチ等の電気部品は焼失又は未回収のため、確認できなかった。 ○残存していたモーターやヒーター部、電源コードについては、出火の痕跡は認められなかった。 ●事故原因は、当該製品の焼損が著しく、残存していた電気部品等については、出火の痕跡が認められなかったことから、出火元は不明であり、製品起因か否かも含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/28)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200801181 2008-4730 2009/01/01 (事故発生地) 愛知県	電気冷蔵庫 三洋電機株式会社 不明	火災が発生した。事故現場に当該製品があった。 (火災)	○当該製品は全体的に上部の焼損が著しく、背面の焼損状況はコンプレッサー室から上に燃え広がっていた。 ○コンプレッサー室にある制御基板は、約3分の1が焼失し基板上の電気部品はトランス付近を残して破損・焼損していた。 ○上記以外に確認できた電気部品、配線等に、出火した痕跡は認められなかった。 ●当該製品の残存している部品に出火した痕跡は認められなかったが、制御基板の一部が焼失していたことから、製品起因か否かを含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/29)
A200801198 2008-4791 2009/01/26 (事故発生地) 兵庫県	電気ストーブ 株式会社セラヴィ CLV-099	当該製品を置いていた部屋で火災が発生した。 (火災)	調査の結果、 ○当該製品は焼損が著しかった。 ○ヒーターとの接続部及びリード線のカシメ部に過熱した痕跡は認められなかった。 ○転倒オフスイッチは焼失しており、確認できなかった。 ●事故原因は、出火時に当該製品が通電状態であったかも不明であり、製品起因か否かも含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/03)
A200801210 2008-4837 2009/01/25 (事故発生地) 香川県	電気温風機（セラミックファンヒーター） 森田電工株式会社 MS-1201CTR	当該製品を使用していたところ、当該製品及び床の一部が焼損した。 (火災)	事故の原因は、セラミックヒーターに接続されている接続端子に緩みが生じていたことから、使用中に接触不良が生じ、スパークが発生し、出火に至ったものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/05)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200801240 2008-4937 2009/02/06 (事故発生地) 大阪府	電気冷蔵庫 松下冷機株式会社(現 パナソニック株式会社) NR-274HV	ベランダで火災が発生し、現場に当該製品があった。消火の際、1名が軽傷を負った。	○当該製品の庫内は、可燃物の焼損は認められるものの、電気部品については、発火した痕跡は認められなかった。 ○当該製品背面後部の機械室は左側が著しく焼損しており、始動リレーのリード線に溶融痕が認められた。 ○始動用及び運転用コンデンサーは内部素子に絶縁劣化の痕跡は認められなかった。 ○コンプレッサーの周辺に動物の毛のようなものが認められた。 ●当該製品の機械室内部のリード線に溶融痕が認められたことから、当該リード線から出火したものと考えられ、長期使用(約25年)によりリード線の被覆が絶縁劣化し、出火に至った可能性も考えられるが、動物がリード線を噛ったことも否定できないため、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/13)
A200801245 2008-4988 2009/01/20 (事故発生地) 茨城県	電気ストーブ(オイルヒーター) 森田電工株式会社(現 株式会社ユーイング) MO-1014M	火災が発生し、現場に当該製品があった。	調査の結果、 ○当該製品は焼損が著しいが、残存していた電気部品に溶融痕や発熱の痕跡は認められなかった。 ○電源コードの断線部に溶融が認められたが、火災熱によるものと推定された。 ○本体内の基板、転倒オフスイッチ及び差込みプラグが焼失しており、確認できなかった。 ●事故原因は、当該製品の焼損が著しく、残存していた電気部品に出火の痕跡は認められなかったため、出火元は不明であり、製品起因か否かを含め事故原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/16)
A200801246 2008-4989 2009/01/30 (事故発生地) 熊本県	電気ストーブ(シーズヒーター) ダイキン工業株式会社 ERFT11KS	当該製品と周辺が焼損する火災が発生した。	調査の結果、 ○当該製品は焼損が著しく、ヒーター一部の樹脂部分がほぼ焼失していた。 ○ベース部は前半分が焼失していたが、後半分は残存していた。 ○ヒーター上部のスイッチ部付近にある内部配線に溶融痕が認められたが、一次痕であるか二次痕であるかの特定はできなかった。 ●事故原因は、当該製品の焼損が著しく内部配線に溶融痕が認められたが、一次痕か、二次痕かの特定はできなかったことから、出火元は不明であり、製品起因か否かを含め原因の特定は出来なかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/16)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	経 済 産 業 省 又 は 消 費 者 庁 受 付 年 月 日
A200801275 2008-4763 2009/01/22 (事故発生地) 静岡県	充電式LEDライト 有限会社くるまドットコム LED90灯非常灯	当該製品を充電していたところ、電源プラグを差し込んでいたテーブルタップ及び周辺が焼損し、1名が軽傷を負った。 (火災)	事故の原因は、当該製品に使用している電源コードが細く、100VのACコードとして不適切であり、かつ、コードプロテクター成型時に絶縁被覆が損傷したため、短絡、発火に至ったものと考えられる。	輸入事業者では、販売を中止するとともに、購入者から製品を回収し、返金することとしている。	(受付:2009/02/24)
A200801280 2008-5077 2009/02/05 (事故発生地) 富山県	テレビ（ビデオ一体型） シャープトレーディング株式会社 VT-21FN3-W	外出中に火災が発生した。現場に当該製品があった。	調査の結果、 ○当該製品は焼損が著しく、一部の部品しか回収できなかった。 ○残存していた電気部品には、溶融痕等の出火に至る痕跡は認められなかった。 ●事故原因は、当該製品の焼損が著しく、一部の部品しか回収されておらず、残存している部品には溶融痕等の出火の痕跡は認められなかったことから、出火元は不明であり、製品起因か否かも含め原因は特定できなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/25)
A200801281 2008-5078 2009/02/20 (事故発生地) 神奈川県	学習机 コクヨファニチャー株式会社 HD-TS6025	当該製品付近から出火したと思われる火災が発生した。	○当該製品に付属している照明器具の上部中央の焼損が著しかった。 ○照明器具のスイッチはオフの状態であったが、スイッチより電源側に近い配線がスライドアーム内で断線しており、断線部に短絡痕が認められた。 ○事故現場のブレーカーは全てオン状態であった。 ○同等品による再現試験の結果、照明器具のスライドアームの可動試験の結果、断線は生じなかった。 ●当該製品に付属している照明器具のスライドアーム内の配線が短絡して出火した可能性も考えられるが、ブレーカーがオフになっていない状況から、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/25)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200801294 2008-5129 2009/01/08 (事故発生地) 大阪府	電気衣類乾燥機 三洋電機株式会社 CD-ST60	火災が発生し、避難する際、1名が軽傷を負った。	○当該製品は全体に焼損しており、金属部のみ残存していた。 ○電源コードは途中で溶断しており、溶断箇所から電源側のコード、電源プラグ、コントロールパネル部の電源スイッチ及びコントロール基板は回収されなかったため確認できなかった。 ●当該製品は著しく焼損しており、電源スイッチ、コントロール基板等が未回収であったため、確認することができず、また、残存していた部品から溶融痕等の出火の痕跡が認められなかったことから、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/26)
A200801305 2008-5172 2009/02/05 (事故発生地) 広島県	電気ストーブ 株式会社千石 DS-C901	当該製品及び他の電気製品が接続されている延長コード付近が焼損する事故が発生した。	○当該製品本体に異常は認められず、通電によって正常に作動した。 ○電源コードは電源プラグ付近で断線していたが、断線部に溶融痕は認められなかった。 ○延長コードのタップ部に差込接続されていた当該製品の電源プラグ部は、事故後廃棄されていたため確認できなかった。 ●当該製品本体及び残存していた電源コードに異常は認められなかったが、電源プラグ部が確認できなかったことから、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/02)
A200801313 2008-5168 2009/02/22 (事故発生地) 三重県	電気洗濯乾燥機 東芝ホームアプライアンス株式会社 TW-150VC	当該製品を運転中、廊下に煙が充満しているのに気づき確認したところ、当該製品上部から火が出ていた。	調査の結果、当該製品内部上部にある乾燥用ヒーターのヒーターリード線に溶融痕が確認され、当該箇所から焼損していた。乾燥用ファンモーターの固定ネジの締め付け不良によって振動が発生し、リード線に影響を及ぼした可能性も考えられたが、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/03)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200801331 2008-5141 2009/02/26 (事故発生地) 東京都	ポータブルDVDプレーヤー 廣華物産株式会社 DVD-7KT (株式会社サンリオのブランド名で販売された製品)	DVDを鑑賞中に当該製品に搭載されたリチウムイオン蓄電池から発火した。 (火災)	事故原因は、当該製品のバッテリーパック内の電池セルに製造上の不具合があったため、内部短絡が生じ、異常発熱して、内圧が上昇し、電池セルが破裂・発火したものと考えられた。	当該製品を販売した株式会社サンリオは、今後も同様の事故が発生する可能性があることから、販売済の対象製品に搭載の蓄電池を交換することとし、平成21年3月13日以降、同社ホームページ及び同社製品を扱う専門店(サンリオショップ)の店頭掲示により注意喚起を行っている。また、併せて連絡先の把握できた消費者に対しダイレクトメール等により直接通知することとしている。	(受付:2009/03/09)
A200801334 2008-5263 2009/02/18 (事故発生地) 大阪府	電気あんか 曾和繊維工業株式会社 FA-602H	火災が発生し、1名が死亡し、現場に当該製品があった。 (火災 死亡 CO中毒)	○当該製品の本体は殆ど焼損しておらず、内部には出火の痕跡は認められなかった。 ○電源コードは、2箇所で断線しており、断線部にはそれぞれ溶融痕が確認された。 ●当該製品の電源コードが本体から断線して出火したものと考えられるが、使用状況が不明であることから製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/09)
A200801337 2008-5261 2009/03/02 (事故発生地) 東京都	食器洗い乾燥機(ビルトイン式) リンナイ株式会社 RKW-456D	当該製品を運転していたところブレーカーが落ちて、当該製品から発煙した。 (火災)	調査の結果、乾燥ファンモーター周辺の焼損が著しく、乾燥ファンモーターのコイル巻線に層間短絡(レイヤーショート)痕が認められたことから、コイルの巻線の不具合若しくは絶縁被覆に損傷があり、コイル部から発熱、焼損に至ったものと考えられる。	製造事業者は、乾燥ファンモーターのコイル部の外部損傷の防止のため、絶縁被覆をテープから樹脂製の成型部品に改良を行った。	(受付:2009/03/10)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200801346 2008-5302 2009/03/02 (事故発生地) 東京都	電気洗濯乾燥機 三洋電機株式会社 AWD-AQ3000	当該製品を使用後、外出したところ火災が発生した。 (火災)	○当該製品は、後側下部の焼損が著しかった。 ○電源コードには複数箇所での断線が認められ、回収されていない部分があった。 ○残存していた電源コードについては、電磁弁等の電気部品と共に、当該製品の下部で樹脂に埋まった状態であったが、いずれも溶融痕等は認められなかった。 ○洗濯ドラム内に異常は認められなかった。 ●当該製品は後側下部が激しく焼損し、電源コードの一部が確認できない状態であり、残存している電源コード、電磁弁等の電気部品には、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかったため、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/12)
A200801347 2008-5296 2009/02/28 (事故発生地) 東京都	電気座ぶとん 松下電器産業株式会社(現パナソニック株式会社) DC-5	当該製品から発煙し、下の絨毯が変色した。 (火災)	事故原因は、長期間使用(約35年)によって、当該製品の芯地に織り込まれたヒーター線を固定する糸が劣化し、ヒーター線が芯地から外れて重なったことにより、使用時の温度が異常上昇し、焼損に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/12)
A200801349 2008-5303 2009/03/04 (事故発生地) 和歌山県	電気冷蔵庫 松下冷機株式会社(現パナソニック株式会社) NR-314TG	火災が発生し、現場に当該製品があった。 (火災)	事故原因は、長期間使用(約24年)により、コンプレッサーに取り付けられている始動リレーにトラッキング又は接触不良が発生した可能性が考えられた。また、風雨に曝される屋外ではないものの、排水溝の上に、当該製品を設置していた環境要因も影響したと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/12)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200801352 2008-5305 2009/03/02 (事故発生地) 東京都	電気こたつ 松下寿電子工業株式会社（ 現 ハナソニック四国エレロニクス 株式会社） DW-582D	1名が死亡する火災が発生し、事故現場 に当該製品があった。 (火災 死亡)	○当該製品の保護網は変形しており、ヒーター と接触していた可能性があった。 ○使用者は衣類を当該製品の中に入れて使用し ていた。 ○保護網表面に繊維と思われる焼損物が認めら れたが、出火時に洗濯物等の衣類が保護網に接 触していたかは確認できなかった。 ○安全装置の温度ヒューズはオープン状態で導 通がなく、サーモスタットの接点に溶着痕は認 められなかった。 ○電源コードの芯線に溶融痕が認められたが、 一次痕、二次痕の特定はできなかった。 ●当該製品のヒーター部に洗濯物等の繊維が付 着したため、出火に至った可能性が考えられる が、電源コードからの出火の可能性も考えられ ることから、製品起因か否かも含め、事故原因 を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2009/03/13)
A200801359 2008-5229 2009/03/04 (事故発生地) 岐阜県	電子レンジ L G 電子ジャパン株式会社 (現 LG Electronics Japan株 式会社) MJ-50HL5	当該製品を使用中に、製品内部から発煙 ・発火した。 (火災)	事故原因は、ドアスイッチに接続されているリ ード線が、製造時のカシメ作業において、芯線 を傷つけられたため、断線部で発熱が生じ、ス パークが発生してリード線の絶縁被覆が発火し 、端子カバーに延焼して火災に至ったものと考 えられる。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2009/03/17)
A200801366 2008-5371 2009/02/28 (事故発生地) 愛媛県	電気冷蔵庫 ドメティック株式会社 QJ-EW61(シャープ株式会 社ブランド)	外出先から帰宅すると異臭がしたため確 認すると、当該製品付近から発煙・発火 していた。 (火災)	調査の結果、当該製品背面のヒーター断熱材の 一部が溶融しており、ヒーター線とヒーターリ ード線を接続するカシメ部に炭化及び緑青が認 められたため、当該部分が接触不良により過熱 され、出火に至ったものと考えられる。ただし 、当該カシメ部に溶融痕等の異常が認められな かったため、原因を特定することができなかっ た。	当該事故事象とは、別事象であるが、ドメ ティック株式会社では、当該製品を含む対 象機種について、平成20年4月8日に新 聞社告を掲載して、使用の中止を呼びかけ るとともに、対象製品について、回収を実 施している。	(受付:2009/03/18)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200801370 2008-5374 2009/03/08 (事故発生地) 東京都	水槽用ポンプ テトラジャパン株式会社 AT-60	水槽付近から出火する火災が発生した。 (火災)	○当該製品の電源コードに短絡痕が認められた。 ○当該製品のモーターはロック状態で、巻線に短絡が認められたが、出火した痕跡は認められなかった。 ○同等品のモーターを水中でロックして通電したが巻線は短絡せず、空気中に曝された場合は巻線が短絡することが確認された。 ●当該製品のモーターがロックしたためにモーターの巻線が異常発熱し、巻線の絶縁が劣化して短絡し、電源コードに過電流が流れて出火に至ったものと推定されるが、使用状況が不明なため、モーターがロックした原因を特定できなかったことから、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/18)
A200801371 2008-5375 2009/03/01 (事故発生地) 千葉県	コンセント 株式会社新光製作所 DG2112 (東芝ライテック 株式会社ブランド)	2口ある当該製品の上側が焼損する火災が発生した。 (火災)	○当該製品は、右側の速結端子部が著しく炭化、焼損しており、欠損が認められた。 ○刃受け金具は、一カ所、刃受け部の幅が広がっていることが確認できたが、当該部分は焼損の影響を受けていなかった。 ○速結端子部に接続されていた電線に接続不良はなく、又、溶融痕は認められなかった。 ○速結端子部の板バネは、4つの内2つが紛失しており、接触状況は確認できなかったが、残存していた板バネには溶融痕等の異常は認められなかった。 ●当該製品の速結端子部の接触不良等により過熱し、出火した可能性が考えられたが、一部未回収の部品があり、残存していた部品には出火の痕跡は認められず、電線の接続も正常と考えられることから、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/19)
A200801386 2008-5410 2009/03/15 (事故発生地) 埼玉県	除湿機 松下エコシステムズ株式会社 (現、ハナソニックエコシステムズ株式会社) F-YHA100	風呂場内で洗濯物を乾燥させるため当該製品を使用したところ、吹き出し口から煙が出た。 (火災)	事故原因は、ヒーターブロックのヒーター線の組み付け不良により、ヒーター線の一部が固定板から外れていたため、回転している除湿ローターに接触して引き伸ばされ、ヒーター線が近傍の樹脂製のカバーに接触し、発煙・出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/24)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200801397 2009-0010 2009/03/03 (事故発生地) 鹿児島県	延長コード 株式会社オーム電機 WAN-6SB (04-3300)	水槽付近で使用していた当該製品から発煙していた。	<p>○当該製品は、過電流防止装置付きメインスイッチが付いたもので、当該スイッチ付近の焼損が著しく、外郭樹脂が焼失していた。</p> <p>○メインスイッチに接続されていたバリスタ（雷等高電圧サージから回路を保護する部品）の本体は回収されていなかった。</p> <p>○メインスイッチの接点に異常は認められなかった。</p> <p>○メインスイッチ直近の差込口に接続されていた照明器具のプラグは、片側の栓刃に受け刃が挟まった状態で外れており、当該栓刃及び受け刃には微細なアーク痕と錆が認められた。</p> <p>○テーブルタップ内部に水の浸入が認められたが、溶融痕はなく出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>●当該製品の最も焼損が著しいメインスイッチに接続されていたバリスタ本体が回収されておらず、又、残存しているその他の部品に出火の痕跡は認められなかったため、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。</p>	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/26)
A200801401 2008-5324 2009/03/13 (事故発生地) 千葉県	こたつヒーター メトロ電気工業株式会社 MQU-600E(K)	当該製品付近から出火する火災が発生した。	<p>○当該製品本体は全体に焼損し、コントローラー接続用コネクタ、ヒーター管やファンモーター等の電気部品が焼損していたが、いずれも原形を留めており、出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○温度コントローラーは回収されていなかった。</p> <p>○電源コードは被覆がほぼ焼失していたが短絡痕等の出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>●当該製品は焼損が著しく、本体の電気部品、電源コードには出火の痕跡は認められなかったが、温度コントローラーが回収されていないため、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。</p>	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/27)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200900011 2008-5355 2009/03/16 (事故発生地) 奈良県	電気ストーブ デロンギ・ジャパン株式 会社 BBH200CB	当該製品を使用していたところ、スイ ッチ部から炎が見えた。 (火災)	事故の原因は、当該製品の制御基板にヒーター ON/OFF用電磁リレーを実装する製造過程 において、はんだ付け不良があったため、接触 不良が生じてスパークが発生し、過熱・出火し たものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2009/04/03)
A200900021 2009-0057 2009/03/12 (事故発生地) 神奈川県	浴槽用温水循環器(24 時間風呂) 亨栄ケミカル株式会社 KTV-61101	異臭がしたので確認すると、火災が発生 し、現場に当該製品があった。また、消 火の際に1名が重傷、1名が軽傷を負っ た。 (火災 重傷)	○当該製品のスイッチボックスの焼損が著しく 、内部配線や電気部品が一部未回収であった。 ○スイッチボックス入力用電源コード4本の内 、3本が焼失しており、残存していた1本に溶 融痕が認められたが、一次痕、二次痕の特定は できなかった。 ○本体及び本体へ供給されているコードには異 常は認められなかった。 ●当該製品のスイッチボックスの焼損が著しく 、内部配線等が一部未回収であり、電源コード に溶融痕が認められたが、一次痕、二次痕の特 定ができず、残存している部品からも出火の痕 跡は認められなかったことから、製品起因か否 かも含め、事故原因を特定することはできな かった。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2009/04/07)
A200900030 2009-0149 2009/03/31 (事故発生地) 兵庫県	電気温風機(セラミック ファンヒーター)(加湿 機能付き) 森田電工株式会社(現 株式会社ユーイング) MS-120CS	当該製品を使用後、当該機器の背部から 発煙していたため、ベランダへ出してお いたところ、発火した。 (火災)	○当該製品は焼損が著しく、樹脂部分はほぼ焼 失していた。 ○スチームヒーターユニットのパイプ内に粉末 状の異物が認められた。 ○セラミックヒーター等の電気部品、電源コー ド及び内部配線には、溶融痕等の出火の痕跡は 認められなかった。 ○内部配線のはんだ付け結線部分には異常は認 められなかった。 ●当該製品に出火の痕跡は認められず、事故時 には電源プラグを抜いた状態であったが、当該 製品以外に焼けたものがなく、製品起因か否 かも含め、事故原因を特定することはできな かった。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2009/04/09)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200900040 2009-0237 2009/03/05 (事故発生地) 三重県	リチウム電池内蔵AC充電器 株式会社リンケージ ACL-03W	当該製品をコンセントに接続して充電していたところ、出火して、本体及び周辺を焼損した。 (火災)	○当該製品に内蔵されているリチウム電池が膨らみ電極が一部焼失しており、焼失部分の電池ケース内側に発熱の痕跡が認められた。 ○電池の内部電極には短絡痕は認められなかった。 ○内部基板は焼損していたものの、異常発熱の痕跡は認められなかった。 ○当該製品の充電時間は1時間半であるが、使用者は当該製品をコンセントに差し込んだままの状態約8時間後に発火していた。 ●当該製品を充電中にリチウム電池が内部短絡して焼損した可能性があるが、電池内部の焼損が著しいため、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/04/13)
A200900045 2009-0244 2009/04/05 (事故発生地) 岩手県	ラインヒーター エナーテック株式会社 UEH-4	家人が外出中に火災が発生し、当該製品のヒーター接続端子が焼損していた。 (火災)	事故の原因は、当該製品内部のヒーター接続線と平型接続端子のカシメ部が製造不良によって緩んでいたため、端子部が異常発熱し、端子カバー及びヒーター接続線が焼損したものと考えられた。	輸入事業者であるエナーテック株式会社は、設置したすべての当該製品について、当該接続部をカシメ接続からボルトとナット締め込み端子に変更した製品との交換を行った。	(受付:2009/04/14)
A200900046 2009-0238 2009/04/05 (事故発生地) 兵庫県	除湿機 森田電工株式会社（現株式会社ユーイング） MD-500	洗面所に置いていた当該製品から出火したと思われる火災が発生した。 (火災)	○当該製品は本体外郭樹脂の上半分の焼損が著しかった。 ○操作パネル周辺にあるLED基板が焼失しており、コントローラー基板、スイッチ類及び内部配線が焼損していた。 ○コントローラー基板は実装されている部品がほぼ残存しており、出火の痕跡は認められなかった。 ○内部配線が複数箇所断線しており、断線部には溶融痕が認められたが、一次痕、二次痕の特定はできなかった。 ○当該製品下部にあるコンプレッサー周辺には大量の埃が堆積していた。 ●当該製品のLED基板が焼失しており、残存している部品及び配線類には出火の痕跡は認められなかったことから、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/04/15)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	経 済 産 業 省 又 は 消 費 者 庁 受 付 年 月 日
A200900056 2009-0271 2009/04/03 (事故発生地) 岐阜県	テレビ (ブラウン管型) LG電子ジャパン株式会社 (現 LG Electronics Japan株 式会社) CR-29SF1	異音がしたため確認すると、当該製品が 置いてある部屋から煙と炎が見えた。 (火災)	○当該製品のうち、現場から回収されたのはメ イン基板、電源基板及び消磁コイルのみであ った。 ○メイン基板は殆どが焼失しており、基板上の 高圧部品 (フライバックトランス) 等を確認す ることができなかった。 ○電源回路に接続されている消磁コイルの端部 に溶融痕が多数認められた。 ○電源基板上にある電源回路及びヒューズ等の 溶断は認められなかった。 ●当該製品の焼損が著しいため、フライバック トランス等、未回収部品が多く、残存してい た基板及び消磁コイルに出火の痕跡は確認でき なかったことから、製品起因か否かも含め、事故 原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2009/04/17)
A200900079 2009-0342 2009/04/21 (事故発生地) 埼玉県	電気衣類乾燥機 松下電器産業株式会社 (現 パナソニック株式会社) NH-D40K2	火災が発生し、現場に当該製品があった 。 (火災)	○当該製品は外郭及び内部共に著しく焼損して おり、一部回収されていない部品があった。 ○コントロール基板は基板上の部品が殆ど焼失 し、銅箔パターンも焼失、剥離していた。 ○残存していたコンデンサー、ヒーターは著し く破損していたが、出火に至る痕跡は認められ なかった。 ●当該製品の焼損が著しく、一部の部品が未回 収であり、残存していた電気部品に出火に至る 痕跡が認められなかったことから、出火元を含 め、事故原因を特定することはできなかった。 なお、当該製品は、基板から出火に至るおそ れがあるため、製品改修を行っているが、当該 箇所は既に改修済みであり、発火痕跡は認めら れなかった。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2009/04/24)
A200900089 2009-0413 2009/04/17 (事故発生地) 島根県	加湿器 岩谷産業株式会社 IMT-25SW	当該製品本体から発煙・発火し、周辺が 焦げた。 (火災)	○当該製品は外郭が著しく焼損しており、内部 の電源基板が炭化し一部焼失していた。 ○電源基板は、はんだ付け部の接触不良等の異 常の有無を確認できなかった。 ○機体内の金属部には著しい腐食が認められ た。 ○蒸発皿にスケールが大量に堆積し、パッキン 接合面まで侵入しており、手入れ等が不十分な 状態であった。 ●電源基板の電源入力部のはんだ付け不良、あ るいは清掃不良によって電源基板に電解質を含 んだ水分が付着したことによりトラッキングが 発生したと考えられるが、電源基板の焼損が著 しく、製品起因か否かも含め、事故原因を特定 することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2009/04/28)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200900113 2009-0493 2009/04/30 (事故発生地) 東京都	携帯型音楽プレーヤー アップルジャパン株式会社 iPod nano MA004J/A	当該製品を充電していたところ、火花が生じ、周囲を汚損した。 (火災)	事故の原因は、当該製品のバッテリーセル内部に製造上の不具合があったために、充放電を繰り返すうちにセル内部の絶縁部が劣化し、バッテリーが内部短絡を起こし過熱に至ったものと考えられた。	アップルジャパン株式会社では、平成22年8月10日よりホームページにおいて、2005年9月から2006年12月の間に販売された初代iPod nanoのバッテリーが過熱を起こすことがあるため、使用者に対しバッテリーの無償交換を呼びかけている。また、登録ユーザーに対して、電子メールによって当該製品に対する注意喚起とバッテリーの交換手続きについて連絡を行っている。	(受付:2009/05/11)
A200900116 2009-0495 2009/04/26 (事故発生地) 神奈川県	パワーコンディショナ(太陽光発電システム用) オムロン株式会社 PVN-403(京セラ株式会社ブランド)	当該製品から異音と異臭が生じ、発煙する火災が発生した。 (火災)	事故原因は、太陽光発電装置周辺機器の設置電気工事において、当該製品の太陽電池出力線を接続する際、端子台のネジの締め付けが不十分であったため、端子部分での接触抵抗が大きくなり、端子部が発熱し、発煙・発火したものと思われるが、現在、原因調査中。	販売事業者である京セラ株式会社が平成19年9月より、周辺機器である対象製品について端子部ネジ締め付け状態の無償点検を、販売店や設置を担当した施工業者を通じて実施している。	(受付:2009/05/12)
A200900126 2009-0520 2009/04/30 (事故発生地) 岡山県	電気冷蔵庫 東芝ホームアプライアンス株式会社 GR-MS35CV	火災が発生し、現場(台所)に当該製品があった。 (火災)	○当該製品は、著しく焼損しており、樹脂部品はほぼ焼失していた。 ○電源コード、メイン基板及び庫内ヒーター等は未回収であったため、確認できなかった。 ○残存していたコンプレッサー、モーター起動用リレー、コンデンサー及び内部配線に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品の残存していた電気部品等に出火の痕跡が認められず、一部の電気部品等が回収されていないことから、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/05/15)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200900136 2009-0671 2009/05/08 (事故発生地) 北海道	ファクシミリ ブラザー工業株式会社 FAX-2810JA	火災が発生し、現場（牛舎内の事務スペース）に当該製品があった。 (火災)	○当該製品は、著しく焼損しており、高圧電源基板等の部品が焼失していた。 ○残存していたメイン基板等の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品の残存していた電気部品等に出火の痕跡が認められず、一部の電気部品等が回収されていないことから、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/05/20)
A200900197 2009-2050 2009/06/02 (事故発生地) 兵庫県	ノートパソコン デル株式会社 Inspiron 6000	当該製品を確認したところ、底面の外郭樹脂が溶融しており、また、当該製品の下に敷いていたビニール製デスクマットに焦げ跡があった。 (火災)	事故の原因は、当該製品のバッテリーセル内の電解液がバッテリーパックに内蔵されているB MU（バッテリー管理ユニット）内部に漏洩したために、ショートし、異常発熱したものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/06/11)
A200900203 2009-0821 2009/06/05 (事故発生地) 埼玉県	電気カーペット 日本電熱株式会社（三菱電機株式会社ブランド） EM-B250（三菱電機株式会社ブランド）	当該製品のコントローラー部分が溶けて焦げる火災が発生した。基板のはんだ付け端子部分が過熱したと思われる。 (火災)	事故の原因は、当該製品のコントローラー内部のリレー端子部のはんだ付け部分にはんだクラックが発生し、異常発熱したものと考えられた。はんだクラックの原因は、製造時のはんだ付け不良及び長期間の使用（約20年）による影響と考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/06/15)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200900213 2009-0629 2009/05/19 (事故発生地) 大阪府	I H調理器 東芝ホームアプライアンス株式会社 BHP-M46J	当該製品でお湯を沸かしていたところ、当該製品のガラストッププレート越しに、内部に火が見え、樹脂の変形が確認された。 (火災)	事故の原因は、当該製品のIHコイルの口出し配線を接続する際に、接続端子部に絶縁チューブを挟み込んだまま接続されたため、徐々に接触不良が進行し、発熱、出火に至ったものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/06/19)
A200900222 2009-0649 2009/05/31 (事故発生地) 東京都	ウォーターサーバー 株式会社北栄（倒産） YWC-804H	乳児が当該製品のチャイルドロック機構が付いている熱湯用の蛇口に触れたところ、お湯が出て右腕にかかり火傷を負った。 (重傷)	当該製品の給湯用蛇口（赤色フオーセット）は、上レバーと下レバーを同時に掴んで下げないと湯が出ない構造となっているが、蛇口全体を手で掴み、持ち上げるように引いた場合でも湯が出ることから、事故原因は、蛇口の高さが床から70cmで、乳児の手の届く高さであったことと、蛇口全体を手で掴み、持ち上げるように引いたために、湯（80℃前後）が出て火傷を負ったものと推定される。なお、取扱説明書には、子供だけで使用させない旨、記載されていた。	輸入事業者が倒産しているため、当該製品について個別の措置を取ることができないため、一般社団法人日本ボトルウォーター協会（JBWA）では、一般社団法人日本ウォーターアンドサーバー協会（JWSA）と協力し、ボトルウォーター販売店等から当該製品を含む全てのウォーターサーバーの使用者に対して注意喚起のチラシを配布するとともに、子供が蛇口のレバーを掴まないように保護カバーの取付けも案内している。	(受付:2009/06/23)
A200900251 2009-0949 2009/06/25 (事故発生地) 東京都	扇風機 三洋電機株式会社 EF-6UJ	店舗の事務所において長期間使用されていた当該製品から出火する火災が発生した。半年ほど前からスイッチを入れても動かなかったが、プラグをコンセントに接続させたままであった。 (火災)	事故の原因は、始動用コンデンサーが長期間の使用（約36年）によって絶縁性能が劣化し、内部短絡したために出火に至ったものと考えられる。	三洋電機（株）では、1977年以前製造の扇風機について、平成19年8月25日及び平成20年6月10日に新聞広告を掲載し、平成19年9月1日からテレビ広告を実施するなどして、使用の中止を呼びかけるとともに、製品の廃棄のお願いをしている。また、財団法人家電製品協会、社団法人日本電機工業会、社団法人電子情報技術産業協会、社団法人日本冷凍空調工業会では、経済産業省と協力して、現在、長期間使用している家電製品に関する注意喚起のためのチラシを各自自治体を通じて全国の各世帯に配布している。	(受付:2009/07/01)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200900265 2009-0983 2009/06/23 (事故発生地) 東京都	テレビ（ブラウン管型） 株式会社日立製作所 C14-413A	当該製品を視聴中、突然映らなくなったため電源を切った。しばらくすると、製品の背面から出火する火災が発生し、1名が煙を吸い軽傷を負った。 (火災)	事故の原因は、長期間の使用（約25年）によって当該製品の高圧ケーブル（アノードケーブル）に半断線が生じてアーク放電が生じた、あるいは、フライバックトランスが絶縁劣化して放電したため、外郭樹脂に着火したものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/07/03)
A200900266 2009-0933 2009/06/22 (事故発生地) 三重県	扇風機 東芝ホームテクノ株式会社 W-30SH	当該製品から出火し、周辺を焼損した。 (火災)	長期使用（約35年）によるコンデンサーの絶縁劣化によって内部短絡が生じて発火に至ったものと考えられる。	製造事業者である東芝ホームテクノ株式会社では、平成19年9月7日より、ホームページで当該機種を含め、長期間使用した扇風機においては、電気部品の経年劣化によって発煙・発火のおそれがあることから、使用前の確認と不具合がある場合の使用停止を呼びかけている。	(受付:2009/07/03)
A200900293 2009-1061 2009/06/30 (事故発生地) 広島県	テレビ（ブラウン管型） 松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社） TH19-L9VR	当該製品付近から出火する火災が発生した。 (火災)	○当該製品は激しく焼損しており、高圧部品（フライバックトランス）が回収されておらず確認することができなかった。 ○残存しているその他の電気部品についても著しく焼損していたが、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は焼損が著しく、回収されていない部品があったが、残存しているその他の電気部品に出火の痕跡は認められず、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/07/10)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200900461 2009-1641 2009/08/28 (事故発生地) 東京都	携帯型音楽プレーヤー 有限会社アップルジャパン ホールディングス iPod nano MA004J/A	当該製品をバッグに入れて使用していたところ、発煙した。 (火災)	事故の原因は、当該製品のバッテリーセル内部に製造上の不具合があったために、充放電を繰り返すうちにセル内部の絶縁部が劣化し、バッテリーが内部短絡を起こし過熱に至ったものと考えられる。	アップルジャパン株式会社は、当該製品を含む対象機種については、当該製品のバッテリーが実際に過熱したり、バッテリーに不安を持っている消費者からの連絡により、バッテリーの交換手続を受け付けるとしている。なお、事故の再発防止を図るため、平成22年8月11日に、“iPod nano”（第一世代）の登録ユーザーに対して、注意喚起及び当該製品に不具合が発生した場合のバッテリーの交換手続きについて、電子メールによる一斉連絡を行っている。	(受付:2009/09/07)
A200900510 2009-1779 2009/02/14 (事故発生地) 福島県	電気ストーブ 燦坤日本電器株式会社 TK-5362Q(K)	当該製品のスイッチを入れて、その場を離れたところ、火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 (火災)	○当該製品は木製テーブルの上で使用されており、周辺に多量の書類が置かれていた。 ○当該製品の本体と台座は、使用前に取り付けるものであるが、これらの取り付けが不十分で不安定な状態であった。 ○当該製品は事故後に廃棄されていたため、転倒オフスイッチの状況については確認することができなかった。 ●転倒した当該製品の熱によって周辺の可燃物に着火した可能性も考えられるが、転倒オフスイッチの状況を確認することができなかったため、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/09/25)
A200900541 2009-1981 2009/08/07 (事故発生地) 岡山県	延長コード 株式会社仲野電機製作所 TK3M-W	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。当該製品の一部分に加工が施されていた。 (火災)	○当該製品の電源コードはタップ部から約150mmの位置で断線しており、断線部には溶融痕が認められたが、一次痕、二次痕の特定はできなかった。 ○当該製品の電源プラグ部及びタップ部、さらにタップに接続されていた電気製品（携帯電話用充電器）には出火の痕跡は認められなかった。 ●電源コードに溶融痕が認められたことから、短絡により出火した可能性が考えられるが、一次痕、二次痕の特定ができず、他の部分にも溶融痕等、発火の痕跡が認められなかったため、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/10/09)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200900560 2009-2042 2009/08/13 (事故発生地) 埼玉県	介護ベッド パラマウントベッド株式会社 楽匠	当該製品の脇に立っていた際ふらついたため、当該製品に取り付けていた介護ベッド用手すりにつかまったら転倒し、重傷を負った。	○当該製品に取り付けられた、手すり間のすき間を埋めるスペーサー（樹脂製）が外れていた。 ○当該スペーサーは、手すりに接着剤で取り付けられており、同等品と比較し、同程度の接着力と推定された。 ○同等品によるスペーサーの引き抜き試験では、1,000Nを超える力を加えても外れないことが確認された。 ●使用者が当該製品付近で転倒した際に介護ベッド用手すりのスペーサーに大きな負荷がかかり、スペーサーが外れ、事故に至ったものと推定されるが、スペーサーの接着力などが確認できず、事故当時の状況も不明であるため、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/10/15)
A200901005 2009-3601 2010/01/31 (事故発生地) 福井県	布団乾燥機 三菱電機ホーム機器株式会社 AD-P40	火災が発生し、現場（家庭の洗濯室）に当該製品があった。	○当該製品は焼損が著しく、原形を留めていなかった。 ○当該製品の電気部品のうち、タイマー、サーモスタット、温度ヒューズは確認できず、残存するファンモーター、ヒーター等に出火の痕跡は認められなかった。 ○内部のリード線に欠損が認められ、残存していたリード線に溶融痕等は認められなかった。 ○電源コードは複数箇所で断線しており、断線部に溶融痕が認められたが、一次痕、二次痕を特定することができなかった。 ●当該製品は焼損が著しく、一部の電気部品が確認できず、残存している電源コード、内部配線や電気部品には出火の痕跡は認められなかったことから、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/02/10)
A201000134 2010-0843 2010/05/03 (事故発生地) 神奈川県	電気冷蔵庫 東芝ホームアプライアンス株式会社 GR-2008TC	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。	事故原因は、長期間の使用（約30年）によって、圧縮機用モーターの始動リレーの接点が接触不良を起こし、異常発熱して出火に至ったものと考えられた。	東芝ホームアプライアンス株式会社では、2008年11月5日にプレスリリース等を行い、さらに、2009年1月28日にホームページに再掲載して、1983年以前に製造された電気冷蔵庫は、電気部品の経年劣化によって発煙・発火のおそれがあるため、使用を中止するよう呼びかけている。	(受付:2010/05/14)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000216 2010-1160 2010/06/04 (事故発生地) 茨城県	携帯型音楽プレーヤー 有限会社アップルジャパン ホールディングス iPod nano MA005J/A	当該製品を充電中に、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 (火災)	事故の原因は、当該製品のバッテリーセル内部に製造上の不具合があったために、充放電を繰り返すうちにセル内部の絶縁部が劣化し、バッテリーが内部短絡を起こし過熱に至ったものと考えられる。	アップルジャパン株式会社は、当該製品を含む対象機種については、当該製品のバッテリーが実際に過熱したり、バッテリーに不安を持っている消費者からの連絡により、バッテリーの交換手続きを受け付けるとしている。なお、事故の再発防止を図るため、平成22年8月11日に、“iPod nano”（第一世代）の登録ユーザーに対して、注意喚起及び当該製品に不具合が発生した場合のバッテリーの交換手続きについて、電子メールによる一斉連絡を行っている。	(受付:2010/06/14)
A201000342 2010-1528 2010/07/13 (事故発生地) 東京都	携帯型音楽プレーヤー アップルジャパン株式会社 MA005J/A	当該製品を充電中に、火花と共に異音が生じ、当該製品が焼損する火災が発生し、当該製品を移動させようとした際に1名が火傷を負った。 (火災)	事故の原因は、当該製品のバッテリーセル内部に製造上の不具合があったために、充放電を繰り返すうちにセル内部の絶縁部が劣化し、バッテリーが内部短絡を起こし過熱に至ったものと考えられた。	アップルジャパン株式会社では、平成22年8月10日よりホームページにおいて、2005年9月から2006年12月の間に販売された初代iPod nanoのバッテリーが過熱を起こすことがあるため、使用者に対しバッテリーの無償交換を呼びかけている。また、登録ユーザーに対して、電子メールによって当該製品に対する注意喚起とバッテリーの交換手続きについて連絡を行っている。	(受付:2010/07/23)
A201000413 2010-2025 2010/07/23 (事故発生地) 東京都	携帯型音楽プレーヤー アップルジャパン株式会社 MA004J/A	当該製品を充電しながら就寝中、異臭と発煙により目を覚ますと、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺を焼損した。 (火災)	事故の原因は、当該製品のバッテリーセル内部に製造上の不具合があったために、充放電を繰り返すうちにセル内部の絶縁部が劣化し、バッテリーが内部短絡を起こし過熱に至ったものと考えられた。	アップルジャパン株式会社では、平成22年8月10日よりホームページにおいて、2005年9月から2006年12月の間に販売された初代iPod nanoのバッテリーが過熱を起こすことがあるため、使用者に対しバッテリーの無償交換を呼びかけている。また、登録ユーザーに対して、電子メールによって当該製品に対する注意喚起とバッテリーの交換手続きについて連絡を行っている。	(受付:2010/08/13)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201000477 2010-2366 2010/08/22 (事故発生地) 東京都	電気洗濯機 東芝ホームアプライアンス 株式会社 AW-E70HVP	以前より動作不良をしていた当該製品を 使用中、当該製品後部より発煙する火災 が発生し、当該製品が焼損した。 (火災)	事故原因は、3本のモーターリード線の内、1 本が断線して溶融痕が認められたことから、こ の部分でスパークが生じ、発煙に至ったものと 考えられる。なお、事故発生の約10日前から 水槽の回転動作が不調でエラーが表示され、運 転が停止していたとのこと及び当該製品にモー ターの回転異常を示すエラーの発生が記録され ていた。	東芝ホームアプライアンス株式会社では、 平成19年3月27日より新聞広告等で、全自 動洗濯機使用時において、特定のエラーが 繰り返し表示された場合は、発煙・発火の おそれがあるため、使用を中止し、速やか に事業者あて修理依頼の連絡をするよう呼 びかけていましたが、平成23年3月2日に 改めてホームページで注意喚起をしていく とともに引き続き同様の事故発生に注視し 、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/09/02)
A201000520 2010-2602 2010/09/07 (事故発生地) 岡山県	携帯型音楽プレーヤー アップルジャパン株式会社 MA004J/A	当該製品を充電中、当該製品から出火す る火災が発生し、当該製品及び周辺を焼 損した。 (火災)	事故の原因は、当該製品のバッテリーセル内部 に製造上の不具合があったために、充放電を繰 り返すうちにセル内部の絶縁部が劣化し、バッ テリーが内部短絡を起こし過熱に至ったものと 考えられた。	アップルジャパン株式会社では、平成22 年8月10日よりホームページにおいて、 2005年9月から2006年12月の間 に販売された初代 iPod nanoのバ ッテリーが過熱を起こすことがあるため、 使用者に対しバッテリーの無償交換を呼び かけている。また、登録ユーザーに対して 、電子メールによって当該製品に対する注 意喚起とバッテリーの交換手続きについて 連絡を行っている。	(受付:2010/09/16)
A201000530 2010-2460 2010/09/09 (事故発生地) 大阪府	携帯型音楽プレーヤー アップルジャパン株式会社 MA004J/A	当該製品を充電中、当該製品から出火す る火災が発生し、当該製品及び周辺を焼 損した。 (火災)	事故の原因は、当該製品のバッテリーセル内部 に製造上の不具合があったために、充放電を繰 り返すうちにセル内部の絶縁部が劣化し、バッ テリーが内部短絡を起こし過熱に至ったものと 考えられた。	アップルジャパン株式会社では、平成22 年8月10日よりホームページにおいて、 2005年9月から2006年12月の間 に販売された初代 iPod nanoのバ ッテリーが過熱を起こすことがあるため、 使用者に対しバッテリーの無償交換を呼び かけている。また、登録ユーザーに対して 、電子メールによって当該製品に対する注 意喚起とバッテリーの交換手続きについて 連絡を行っている。	(受付:2010/09/17)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201000617 2010-2946 2010/10/22 (事故発生地) 神奈川県	電気洗濯機 東芝ホームアプライアンス株式会社 AW-F80HVP	当該製品を使用中、当該製品から発煙・出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。事故発生前より、故障表示が出ていた。	事故原因は、3本のモーターリード線の内、1本が断線して溶融痕が認められたことから、この部分でスパークが生じ、出火に至ったものと考えられる。なお、事故発生前よりエラー表示が頻繁に出ていたとのこと及び当該製品にモーターの回転異常を示すエラーの発生が記録されていた。	東芝ホームアプライアンス株式会社では、平成19年3月27日より新聞広告等で、全自動洗濯機使用時において、特定のエラーが繰り返し表示された場合は、発煙・発火のおそれがあるため、使用を中止し、速やかに事業者あて修理依頼の連絡をするよう呼びかけていましたが、平成23年3月2日に改めてホームページで注意喚起をしていくとともに引き続き同様の事故発生に注視し、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/10/29)
A201000733 2010-3157 2010/11/20 (事故発生地) 北海道	空気圧縮機 株式会社ナカトミ CP-1450	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。	事故原因は、当該製品のモーターが過負荷状態となり、過大な電流が流れた際、製品の仕様（定格値）に適合していないサーキットブレーカー（電流遮断装置）が使用されていたために機能せず、モーターが過熱し出火したものと考えられた。	株式会社ナカトミでは、平成19年1月14日に新聞社告を掲載し、また販売店における店頭掲示等により注意喚起を行うとともに、無償回収を実施しています。	(受付:2010/12/02)
A201000882 2010-3931 2011/01/13 (事故発生地) 岐阜県	電話交換機 積水化学工業株式会社 マルチメディア住宅システムMJS3	異臭がし、ブレーカーが作動して照明が消えたため確認したところ、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺が焼損した。	事故原因は、継続して調査中であるが、当該製品内部の回路において異常電圧が生じ、電気部品の発熱が継続し、最終的に出火に至ったものと考えられる。	積水化学工業株式会社は、同様の事故の発生防止を図るため、平成23年2月14日より消費者に対してダイレクトメールを送付するなどして告知及び注意喚起を行い、平成23年3月中旬より、他社製品との交換を実施することとした。	(受付:2011/01/25)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	経 済 産 業 省 又 は 消 費 者 庁 受 付 年 月 日
A201000886 2010-3992 2011/01/10 (事故発生地) 埼玉県	電子レンジ 株式会社千石（岩谷産業株 式会社ブランド） IM-574（岩谷産業株式会社 ブランド）	当該製品で調理中、操作パネル付近から 発煙・出火する火災が発生し、当該製品 が焼損した。 (火災)	事故原因は、ドアの開閉を検知するスイッチの 製造不良により、接点部でスパークし、出火し たと考えられる。	販売事業者である岩谷産業株式会社は、事 故の再発防止を図るため、平成15年9月 2日から複数回、新聞社告を掲載するとと もにテレビCM放送で、注意喚起を行い、 対象製品について、無償改修（スイッチ部 の交換）を実施しています。また、平成 22年9月21日から9月29日までの間 及び11月16日から11月24日までの 間、テレビCM放送で使用者に対して注意 喚起し、速やかに連絡を頂くよう呼び掛け ています。	(受付:2011/01/26)
A201000894 2010-3921 2011/01/18 (事故発生地) 奈良県	電気ストーブ（ハロゲン ヒーター） フカダック株式会社 FH-911	当該製品を使用中、その場を離れていた ところ、当該製品から発煙する火災が発 生し、当該製品が焼損した。 (火災)	事故原因は、ヒーター電源供給線が短いため首 振り動作等の張力でヒーター管と電源リード線 の接続部に徐々に断線が生じ、スパークし、発 煙したものと考えられる。	フカダック株式会社は、事故の再発防止を 図るため、平成21年1月14日からホー ムページで告知し、注意喚起を行い、対象 製品について代替品との無償交換を実施し ています。	(受付:2011/01/28)
A201000938 2010-4283 2011/01/28 (事故発生地) 広島県	電子レンジ 小泉成器株式会社 KRD-0106	当該製品を使用中、その場を離れ戻った ところ、当該製品のスイッチ操作部から 出火する火災が発生しており、当該製品 及び周辺が焼損した。 (火災)	事故原因は、当該製品を使用する際に、扉を開 閉し、電源の入切が繰り返されることでドアの 開閉を検知するスイッチが接触不良となり、ス パーク（電気火花）が発生し、トラッキング現 象（絶縁破壊による短絡）が起こり、出火に至 ったと考えられる。	小泉成器株式会社は、事故の再発防止を図 るため、平成19年9月12日、新聞社告 を掲載し、当該製品を含む対象機種につい て、使用の中止を呼び掛けるとともに、無 償改修を実施している。また、同社では、 平成20年3月以降複数回にわたり、テレ ビCM放送で注意喚起を行い、対象製品に ついて無償改修を呼び掛けている。	(受付:2011/02/09)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201000941 2010-4243 2011/01/05 (事故発生地) 東京都	電気ストーブ（カーボンヒーター） 燦坤日本電器株式会社 UHC-3T	当該製品を使用中、異音とともに当該製品から発煙・出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 (火災)	事故原因は、当該製品の強弱切り替えスイッチに使用されているダイオード不良により、異常発熱が生じ、火災に至ったものと考えられる。	燦坤日本電器株式会社は、当該製品を含む対象機種について、平成23年2月15日以降、回収を行い、代替品への無償交換又は返金対応を実施する旨の告知を、同社のホームページに掲載した。	(受付:2011/02/09)
A201000942 2010-4244 2011/01/19 (事故発生地) 大阪府	電気ストーブ（カーボンヒーター） 燦坤日本電器株式会社 UHC-3T	当該製品を使用中、当該製品から発煙・出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。 (火災)	事故原因は、当該製品の強弱切り替えスイッチに使用されているダイオード不良により、異常発熱が生じ、火災に至ったものと考えられる。	燦坤日本電器株式会社は、当該製品を含む対象機種について、平成23年2月15日以降、回収を行い、代替品への無償交換又は返金対応を実施する旨の告知を、同社のホームページに掲載した。	(受付:2011/02/09)
A201000953 2010-4343 2011/01/13 (事故発生地) 広島県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 大宇電子ジャパン株式会社 SD-80G	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。 (火災)	事故原因は、強弱切換の部品（ダイオード）に不具合があり、発熱し、発煙・出火に至ったものと考えられる。	大宇電子ジャパン株式会社は、事故の再発防止を図るため、平成15年2月28日及び平成19年3月1日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品の無償改修を実施している。	(受付:2011/02/14)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201000970 2010-4383 2011/02/03 (事故発生地) 神奈川県	電気式浴室換気乾燥暖房機 三菱電機株式会社 V-100BZ4-YH	当該製品を使用中、建物の電気が切れ、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生していた。 (火災)	事故原因は、当該製品の電源電線と屋内配線との工具による電線接続の圧着が不十分であったことから、接触不良が生じて発熱し、出火に至ったものと考えられる。当該製品については、接続工事が不適切なために同様の事故が発生したことを受けて、平成18年6月30日に経済産業省より点検等の要請を行い、当該製造事業者の修理部門が平成18年12月16日に点検を行っていたが、作業員の点検が不十分であったために事故が発生したものである。	当該製品を含む対象機種について、三菱電機株式会社及び三菱電機システムサービス株式会社においては、当該作業員が点検作業を実施した製品については全て再点検を行い、同様に不適切な接続が行われているものはないことを確認していくこととし、また、これまでに三菱電機システムサービス株式会社の実施してきた点検の記録のうち、適切な接続であることが明確に確認できない案件を抽出し再度点検を行い、不適切であった場合は無償改修することとした。	(受付:2011/02/17)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費 受付年月日
A200700667 2007-5010 2007/11/16 (事故発生地) 東京都	ガスグリラー（アウトドア用） コストコホールセールジャパン株式会社 720-0083-04R	点火してからしばらくすると、当該機器より炎があがり、ホース部分等が焼損した。 (火災)	調査の結果、当該製品に添付されている組立・取扱説明書が日本語で記載されていなかったため、当該製品本体にサイドバーナーを取り付けることができず、サイドバーナーを本体下部に収納した状態で本体グリルを使用したことから、グリル底板の過熱によりサイドバーナーのガスホースが溶解し、漏れたガスにバーナーの火が引火したことにより火災に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、コストコホールセールジャパン株式会社では、既販品について、日本語訳の取扱説明書を送付することとしている。	(受付:2007/11/30)
A200800005 2008-0137 2008/01/19 (事故発生地) 三重県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ 型式不明	火災が発生した。当該製品に給油する際に漏れた灯油に引火した可能性がある。 (火災)	当該製品を使用中に消火をせずに給油を行い、ワンタッチ式の給油タンクを装着しようとした際に給油口が開き灯油がこぼれて燃焼筒の炎が引火したものであったが、給油タンクの使用状況が確認できないため事故の原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者である株式会社コロナは、石油ストーブに給油を行う際は確実に消火すること、ワンタッチ式の給油タンク（よごれま栓タンク）については、確実に蓋がロックされているか確認するよう使用時の注意喚起・啓発を実施しています。	(受付:2008/04/01)
A200800096 2007-7157 2008/03/19 (事故発生地) 石川県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ RX-280X	火災が発生し、家人1名が死亡した。 (火災 死亡)	当該製品の焼損及び変形が著しく、また、使用状況も不明なため原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/04/25)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200800171 2008-0796 2008/05/10 (事故発生地) 福岡県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社コロナ FH-S323DX	当該製品のスイッチを入れて数分後、点火とともに黒煙が出たため消火した。 (火災)	イグナイタユニットの焼損が著しくコンデンサ一付近からの発火の可能性が考えられるが焼損が著しいため原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/05/20)
A200800215 2008-0985 2008/01/00 (事故発生地) 愛知県	囲炉裏座卓 株式会社子持工芸 4尺	当該製品を使用して数日後、体調が悪くなり入院し、一酸化炭素中毒と診断された。 (重傷 CO中毒)	事故原因は、取扱説明書に当該製品で炭火を使用する際の換気についての注意表示がされておらず、換気が不十分な室内において当該製品で炭火を使用したため、一酸化炭素中毒になったものと考えられる。	事業者は、事故発生後に販売する製品の取扱説明書に注意表示の追加を行った。	(受付:2008/06/02)
A200800245 2008-1072 2008/05/03 (事故発生地) 北海道	石油ふろがま サンポット株式会社 F B - 4 E 3	入浴後ふろがまを消火し、浴槽の水抜きをして就寝したところ、翌朝、当該製品の循環管付近から出火し、壁の一部が焼損した。 (火災)	調査の結果、燃焼部に煤など異常燃焼の痕跡はなく、空だきの可能性が認められるものの当該製品の使用後に電源を切ってから相当な時間の経過後の出火であるため、製品起因であるか否かを含め事故の原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/06/09)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200800293 2008-1196 2007/12/05 (事故発生地) 愛知県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ RX-D27W	家屋を焼損する火災が発生し、1名が死亡した。火元と思われる場所に当該製品があった。 (火災 死亡)	異常燃焼の痕跡は認められず、ねじ式の給油タンクも口金が閉まった状態で装着されていることから、当該製品から出火した可能性は低いと考えられるが、事故品が廃棄されており、使用状況も不明なため原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/06/18)
A200800354 2008-1419 2008/06/21 (事故発生地) 兵庫県	密閉式ガスふろがま（都市ガス用） リンナイ株式会社 RBF-65NDW	シャワーを使用中にシャワーヘッドを洗面器に入れていたところ、機器から異音が生じてシャワーヘッドが暴れ、熱湯を浴びて火傷を負った。 (重傷)	当該製品には不具合は認められず、事故発生時の水圧変動及び流水路中に確認された鉄錆が給水に影響してダイヤフラムが適切に動作せずに消火遅れが発生した可能性は考えられるが、事故発生時の水圧変動の確認等が不能なため、事故の原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/07/03)
A200800390 2008-1474 2008/07/10 (事故発生地) 山口県	ガスふろがま（LPガス用） 株式会社ノーリツ GS-130D	当該機器が点火しないため、点火動作を繰り返したところ大きな音がし、周辺の窓ガラスが割れた。 (火災)	点火用の電池電圧が低下したことにより安全装置が機能して燃焼が停止する状態であったが、点火操作を繰り返したためガスが滞留し、点火操作の火が着火したものと考えられる。なお、取扱説明書には、電池が消耗したら点火できなくなるので、早めに交換することにつき注意が記載されている。	事業者は、取扱説明書に点火時の注意事項として、再点火操作の際は異常着火を予防するために直前の点火操作との間に時間をあける旨や、再操作をしても点火しない場合は販売店か事業者に連絡いただく旨の注意事項を記載し再発防止を図っている。	(受付:2008/07/14)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	経 済 産 業 省 又 は 消 費 者 庁 受 付 年 月 日
A200800499 2008-1990 2008/08/07 (事故発生地) 東京都	屋外式ガス湯沸器（都市ガス用） 株式会社ノーリツ GQ-162WS	当該機器の取り付け壁面の一部が焼損する火災が発生した。 (火災)	熱交換器部への胴板と通水パイプのロウ付け加工の一部に不十分な箇所があったため、長期使用（約17年）により亀裂が生じ、熱交換器内部の熱風や炎が吹き出して取り付け壁面の焼損に至ったものと考えられる。	事業者は製品の温度ヒューズを前面背面各1個から前面3個、背面5個に増やし、また、熱交換器部の胴板と通水パイプのロウ付け加工の確認のための孔を設けてロウ材のまわりを検査することとした。	(受付:2008/08/12)
A200800551 2008-2285 2008/08/25 (事故発生地) 東京都	ガス炊飯器（都市ガス用） リンナイ株式会社 RR-07VN	当該製品が発煙し、焼損する火災が発生した。 (火災)	長期間（約25年）の使用により、ガス弁の開閉を行うためのメインロッドとロックガイドの間に埃が堆積してメインロッドの動きが緩慢になっていたことから、炊飯後もメインロッドが所定の位置まで完全に戻らずにガスの供給及び加熱が継続し、発煙・焼損に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/08/29)
A200800640 2008-2861 2008/09/13 (事故発生地) 長崎県	石油給湯機 株式会社コロナ UIB-3020CX(A)	家屋を全焼する火災が発生した。 (火災)	製品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、出火元であるか否かを含め原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/09/30)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200800660 2008-2992 2008/09/23 (事故発生地) 埼玉県	屋外式ガス給湯付ふろが ま（LPガス用） 高木産業株式会社 TP-SP164SZR-1	シャワーを使用中、当該製品から火が出 て、雨どいの一部が焼損した。 (火災)	調査の結果、給気経路の埃等の付着が著しく、 熱交換器に大量の煤と砂が詰まっており、排気 口にも煤の付着が認められることから、給気不 足による熱交換器の詰まりで不完全燃焼の未燃 ガスが再燃して排気口から炎が出たものと考え られる。	製造事業者は、当該事故を受けて、長期間 使用の給湯器の不具合を認識するための注 意喚起をホームページに掲載し、また、メ ンテナンス等のサービスの機会に改めて取 扱い注意事項の説明を行うこととした。	(受付:2008/10/02)
A200800812 2008-3332 2008/11/03 (事故発生地) 北海道	石油ストーブ（密閉式） 株式会社コロナ FF-V45	点火後、当該製品の下から出火し、周囲 の壁と畳を焼損した。 (火災)	製品内部からの出火であり電装部の基板が原形 を留めないほど焼損・焼失しており、当該部よ り出火と考えられるが、焼損が著しく原因の特 定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2008/11/14)
A200800861 2008-3670 2008/11/15 (事故発生地) 群馬県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-D27WY	当該機器を使用開始1時間半後、「ボン ン」という音と同時に、突然当該機器の下 部から煙が上がり、当該機器全体に炎が 上がった。消火した際に1名が火傷を負 った。 (火災)	製品全体が焼損しているが、油漏れや異常燃焼 の痕跡は認められなかったことから、事故原因 の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2008/11/25)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200800899 2008-3730 2008/10/24 (事故発生地) 宮城県	石油給湯機 株式会社ノーリツ OC-300	シャワーが出ないためボイラを確認すると燃焼ランプが消えていた。点火操作を数回繰り返したところ、発煙し、ボイラ周辺から炎が出た。 (火災)	製品本体下部の灰出口から炎があがり、消火時に製品内部にバーナーの炎以外の燃焼が確認されていることから、製品の使用中に製品内部に滞留していた灯油が発火し、製品の底面に漏れた灯油に延焼したもので製品からの出火であるが、灯油が漏れた部位が不明なため事故の原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/11/28)
A200800951 2008-3957 2008/11/17 (事故発生地) 福島県	石油ストーブ(開放式) 株式会社トヨトミ RS-L21	当該製品の置き台付近に火と思われる光が見えたので、点火つまみを上げて消火を試みたが、消火できないため、土間に移動させたところ、燃焼筒外側付近から炎が上がった。1名が両手と頭部に軽い火傷を負った。 (火災)	灯油漏れや異常燃焼の痕跡は認められず、当該製品全体の焼損が著しいため、事故の原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/12/11)
A200800954 2008-3958 2008/11/14 (事故発生地) 千葉県	石油温風暖房機(開放式) 株式会社コロナ FH-HIX347BY	火災が発生し、1名が火傷で重傷を負った。 (火災 重傷)	製品の温風吹き出し口は閉まった状態であり、火災発生時は使用していなかった可能性が高いと考えられる。回収できなかった部品があることから、出火元であるか否かも含め事故の原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/12/11)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200800955 2008-4007 2008/11/24 (事故発生地) 愛知県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-E261Y	火災が発生し、1名が火傷で重傷を負った。 (火災 重傷)	製品には内部から出火した痕跡は認められず、天板の焼損が著しいことからワンタッチ式の給油タンクを戻す際に当該部に灯油がかかった可能性が考えられるが、給油タンクが膨張していることから事故時に給油口は閉まっていたと推定され、使用状況が不明なため事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者である株式会社コロナは、石油ストーブに給油を行う際は確実に消火すること、ワンタッチ式の給油タンク（よごれま栓タンク）については、確実に蓋がロックされているか確認するよう使用時の注意喚起・啓発を実施しています。	(受付:2008/12/11)
A200800959 2008-3962 2008/12/05 (事故発生地) 静岡県	石油給湯機 株式会社ノーリツ MBX-3090VH	当該機器の排気口から炎が見えたため、消火した。 (火災)	長期使用（20年間）により、配水管接続部のOリングが劣化したため、安全弁排水部から漏れた水がモーター内に浸入し、モーターコイルがレアショートを起こしてファンモーターが故障・停止して、燃焼用空気が不足したことにより、異常燃焼の炎が排気口から見えたものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/12/12)
A200800983 2008-4066 2008/12/07 (事故発生地) 北海道	石油給湯機付ふろがま 株式会社コロナ UKB-3300TXA	給湯中に排気管から炎が出ていた。給湯停止後しばらくすると器具の置き台の付近から出火していたため消火した。 (火災)	不完全燃焼による未燃ガスが異常燃焼し機器内部を焼損し、電磁ポンプより漏れた灯油に引火し、置き台付近から出火したものと推定されるが、不完全燃焼の原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/12/19)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200801027 2008-4282 2008/12/20 (事故発生地) 京都府	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-B27BWY	火災が発生し、火災現場に当該機器があった。 (火災)	当該製品を消火せずに給油をおこない、ワンタッチ式給油タンクを装着しようとした際に灯油がこぼれて出火に至ったものであったが、給油タンクの使用状況が不明なため原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者である株式会社コロナは、石油ストーブに給油を行う際は確実に消火すること、ワンタッチ式の給油タンク（よごれま栓タンク）については、確実に蓋がロックされているか確認するよう使用時の注意喚起・啓発を実施しています。	(受付:2009/01/05)
A200801038 2008-4096 2005/12/28 (事故発生地) 東京都	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-D27WY	当該機器に給油後、再点火してしばらくすると、当該機器から漏れていた灯油に気づき、消火しようとしたが間に合わず、家屋を全焼した。 (火災)	製品本体に装着したワンタッチ式給油タンクの給油口から灯油が漏れた可能性が高いと推定されるが、事故品が廃棄されており給油タンクの確認ができないため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/05)
A200801046 2008-4289 2008/12/27 (事故発生地) 神奈川県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-24	火災が発生し、住人1名が熱気を吸い込み軽傷を負った。火災現場に当該機器があった。 (火災)	製品全体の変形及び焼損が著しく、燃焼筒など残存物には異常燃焼や出火の痕跡が認められないため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/07)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200801082 2008-4465 2008/12/30 (事故発生地) 長野県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社コロナ FH-S323DX	当該製品を使用していたところ、パチパチと音がし、ストーブ付近から火が出た。 (火災)	イグナイタの焼損が著しく、当該部付近から発火した可能性が高いと推定されるが、事故品の焼損が激しいため原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/15)
A200801101 2008-4354 2009/01/08 (事故発生地) 岩手県	石油給湯機付ふろがま 株式会社長府製作所 KIBF-422DSA	リモコンで湯張り運転しようとしたが着火せず、リモコンに警報が表示されたので、当該機器を確認すると機器内部が焼損していた。 (火災)	事故原因は、当該製品の燃焼室内で異常燃焼が生じたため、未燃灯油が消音室内に入りこみ滞留して、消音材に染み込み、気化した未燃灯油にバーナーの火が引火したことにより、火災に至ったものと考えられたが、原因を特定することができなかった。なお、使用者は以前から、当該製品のリモコンに警報が表示されていたが、点検・修理をせずに使用を継続していたことも事故の要因と考えられる。	当該事故事象とは別事象であるが、株式会社長府製作所では、当該製品を含む対象機種について、平成17年3月24日に自社ホームページに社告を掲載し、電磁ポンプのOリングが劣化により油漏れが発生するおそれがあることから注意喚起を行うとともに、無償点検・修理を実施している。	(受付:2009/01/16)
A200801121 2008-4808 2009/01/20 (事故発生地) 神奈川県	屋外式ガス給湯器付ふろがま（都市ガス用） 株式会社ノーリツ GT-2010ARX	修理事業者による修理後しばらくすると、異音が生じたので確認すると、当該機器が燃えていた。修理不良の可能性があると。 (火災)	ガスパイプの接続部の抜け止めビスが締めつけられておらずガスパイプが外れていたことから、ガスパイプの交換修理が不備だったため、ガス漏れが生じて引火爆発に至ったものと考えられる。	事業者は、製品のサービス事業者会社及びサービス委託事業者に対して当該事故例の周知及び適切な作業手順の確認・徹底と研修会における指導を行い再発防止を図っている。	(受付:2009/01/21)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200801132 2008-4316 2008/12/31 (事故発生地) 大分県	石油温風暖房機（開放式） ダイニチ工業株式会社 FW-431S	火災が発生し、現場に当該製品があった。 (火災 死亡)	調査の結果、給油タンクの膨張、変形、灯油漏れ等の異常は認められず、残存する電気部品には発火の痕跡も認められなかったが、事故品は焼損が著しく金属部分以外のほとんどが焼失しており、出火元であるか否かも含め事故の原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/22)
A200801219 2008-4803 2009/01/19 (事故発生地) 和歌山県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-E270WY	当該製品を使用中に火災が発生し、周囲を焼損した。消火の際に1名が火傷を負った。 (火災)	当該製品を使用中に機器内部から灯油が漏れて火災に至った可能性が高いが、焼損が著しく灯油が漏れた痕跡などが確認できなかったため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/06)
A200801244 2008-4753 2009/02/04 (事故発生地) 香川県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-D27WY	当該製品を使用していたところ、しばらくして発煙・発火した。 (火災)	給油タンクの樹脂製油量計が焼損して灯油がなくなっており、置き台の給油タンク及び燃焼筒の下と製品前面の焼損が著しかったが、燃焼筒には煤等の異常燃焼の痕跡は認められず、出火元が確認できないため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/13)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200801260 2008-5023 2009/02/10 (事故発生地) 奈良県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社コロナ FH-322DXD	当該製品を使用中温風吹き出し口から炎が出た。 (火災)	長期使用（約25年）により、部品（制御リレー）のはんだ付け部に割れが生じ接触不良による異常発熱で発火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/19)
A200801267 2008-5026 2009/02/12 (事故発生地) 石川県	石油給湯機 TOTO株式会社（製造：東陶 ユプロ株式会社（解散）） RPE32ASSN	当該製品を使用中にブレーカーが作動したため確認すると、機器が焼損していた。 (火災)	長期使用（16年間）により、電磁弁のリングが硬化し、当該部から漏れた灯油が機器内部で発火したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/20)
A200801274 2008-5067 2009/02/13 (事故発生地) 京都府	継手付ホース用接続具（LPガス用） 株式会社穂高製作所 不明	ガス臭がしたため、ガス販売事業者が確認したところ、ふろがまに取り付けた当該製品（アダプター）が外れていたため、アダプターを接続し、ガス臭がなくなったことを確認後、ふろがまを試験点火したところ、爆発し、1名が死亡し、2名が軽傷を負った。 (火災 死亡)	調査の結果、当該製品は、一方の接続口はねじ込み式であって、他方の接続口内部にはゴムがあるため接続すると外れにくい構造となっており、また、爆発は、当該製品が接続されていたふろがまから離れた場所で発生しており、爆発に至るまでの過程が不明なため、原因の特定をすることができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/23)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200801311 2008-5162 2008/12/25 (事故発生地) 長崎県	ガス栓（LPガス用） 株式会社穂高製作所 RF-2C (R:L) -A	ガスこんろを使用中にその場を離れた際、異音が生じたため確認すると、2口ある当該ガス栓付近から出火し、ゴムホースの一部が焼損していた。 (火災)	調査の結果、ガス機器が接続されていない側の元栓が半開きの状態となっており、そこから漏れたガスに、もう1口の栓に接続したガスこんろの火が引火して、火災に至ったものと考えられるが、事故発生時の設置状況が確認できなかったことから、原因の特定をすることができなかった。なお、当該製品はつまみが半開きの状態では、ヒューズが作動しない仕様のものである。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/03)
A200801353 2008-4091 2008/12/16 (事故発生地) 福島県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ 不明	火災が発生した。消火しないまま当該製品のカートリッジタンクに給油後、本体に戻す際にタンクのロックピンが外れ、灯油がこぼれて引火した可能性がある。 (火災)	当該製品を使用中に消火せずに給油を行い、ワンタッチ式の給油タンクを本体に戻そうとした際に給油口をぶつけて灯油がもれたものであったが、給油タンクの使用状況が確認できず、また、焼損が著しいため給油口が開いた原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/13)
A200900125 2009-0437 2009/05/06 (事故発生地) 富山県	石油ストーブ（開放式） 東芝ホームテクノ株式会社 KSR22H	火災が発生し、1名が重傷を負い、現場に当該製品があった。 (火災 重傷)	調査の結果、当該製品に異常燃焼した痕跡は認められないものの、火災時の影響による焼損、変形が著しく、耐震自動消火装置の作動状況が不明であること及び使用状況も不明であることから、出火元を含め、事故原因を特定することはできなかった。	事故原因は不明であるが、引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/05/15)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201000899 2010-3990 2011/01/25 (事故発生地) 福島県	石油給湯機 株式会社ノーリツ OQB-302Y	当該製品を使用中、異臭と発煙に気付き確認すると、当該製品から発煙する火災が発生しており、当該製品及び周辺が焼損した。 (火災)	事故原因は、電磁弁に使用されている部品のOリング（パッキン）が劣化により硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この漏れた灯油に引火して機器内部が焼損したと考えられる。	株式会社ノーリツは、当該製品を含む対象機種（下記）の石油給湯機付ふろがま及び石油給湯機について事故の再発防止を図るため、平成14年10月24日から無償改修を開始し、平成18年12月4日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行っています。さらに、平成21年12月からは、戸建住宅へのチラシ直接配布や、全石連（全国石油商業組合連合会、全国石油共済協同組合連合会）を通じて、47都道府県の石油商業組合及び石油共同組合に加盟している石油販売事業者に協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないかの確認を行うなど対象製品の改修促進を図っています。	(受付:2011/01/28)
A201000918 2010-4216 2011/01/03 (事故発生地) 岩手県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 燦坤日本電器株式会社 UHC-3T	当該製品を使用中、その場を離れたところ、当該製品から出火する火災が発生し、一戸建て2階部分が全焼した。 (火災)	事故原因は、当該製品の強弱切り替えスイッチに使用されているダイオード不良により、異常発熱が生じ、火災に至ったものと考えられる。	燦坤日本電器株式会社は、当該製品を含む対象機種について、平成23年2月15日以降、回収を行い、代替品への無償交換又は返金対応を実施する旨の告知を、同社のホームページに掲載した。	(受付:2011/02/04)
A201000949 2010-4282 2011/02/01 (事故発生地) 山形県	石油給湯機付ふろがま TOTO株式会社 [製造：東陶ユプロ株式会社（解散）] RPE32KE	当該製品を使用中、当該製品から発煙する火災が発生し、当該製品が焼損した。 (火災)	事故原因は、電磁弁に使用されている部品のOリング（パッキン）が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	東陶ユプロ株式会社（現TOTO株式会社）は事故の再発防止を図るため、平成14年10月及び平成18年12月に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償改修を実施している。	(受付:2011/02/10)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200800043 2008-0307 2008/03/31 (事故発生地) 茨城県	木製椅子 株式会社ニトリ ニューオリーブ2	当該製品に座ったところ、いすの脚が折れ、転倒し、その際に骨折した。製造不良と思われる。	脚と座面部品との補強用L字金具を取り付ける作業時に取付け位置を誤り、ねじを二度打ちしたことにより、当該部ねじ穴からひび割れが生じて破損に至ったものと考えられる。	当該製品は平成20年2月に販売を終了しており、これまで同一機種による類似事故の発生がないことから、引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/04/10)
A200800178 2008-0808 2008/03/13 (事故発生地) 東京都	折りたたみテーブル 株式会社イトーキ TNX-154K-W7	席を立った際に、机の脚部に足を引っかけて転倒し、手をついた際、手首を骨折した。	調査の結果、当該製品の使用時に脚部の手前側がテーブル天板よりも外側に張り出すため、当該部に使用者が足を引っかけたものであった。	製造事業者は当該事故を受けて、使用時にテーブル天板の寸法内に脚部が収まる設計変更を行った。	(受付:2008/05/21)
A200800324 2008-1279 2008/05/24 (事故発生地) 愛知県	折りたたみ椅子 株式会社ニトリ NX-11 YE	当該製品に座っていたところ、座面と脚の前方接合部が外れ、椅子が潰れたため、骨折した。	座面前方で座面とパイプ足を固定しているリベットが左右とも破断しており、当該部に過大な応力が加わった可能性が考えられるが製品の使用状況が不明なため、事故の原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/06/25)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200800445 2008-1808 2008/07/10 (事故発生地) 愛知県	システムキッチン サンウエーブ工業株式会社 70.653	当該製品のコーナーキャビネットの扉用のヒンジ（蝶番）で幼児が指を挟み重傷を負った。 (重傷)	調査の結果、コーナーキャビネットの扉用のヒンジは、扉を開閉する過程でヒンジ自体に複数のすき間が生じるものであり、このいずれかに指を挟んだものと考えられる。保護者の不注意が大きいものの、注意喚起も不十分であったと考えられる。	事業者は、この事故を受けて取扱説明書に、ヒンジに触れないよう注意事項を追加記載するとともに製品に警告のシールを貼付することとした。	(受付:2008/07/31)
A200800757 2008-3320 2008/10/19 (事故発生地) 東京都	木製椅子 野村貿易株式会社 テノール	当該製品を使用中に脚部が分解したため、転倒して負傷した。 (重傷)	調査の結果、脚部を構成する各部品には破損は認められず、接合部が外れて分解したものであり、接合部への接着剤の塗布が不十分だったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/10/29)
A200900118 2009-0516 2009/05/07 (事故発生地) 神奈川県	ドア 三協立山アルミ株式会社 PSKD8G-7520S KC	浴室から出ようとして当該製品を開いたところ、当該製品の扉が外れて落下し、足の指に当たり骨折した。 (重傷)	事故の原因は、当該製品の上側の框（かまち）と丁番側の框（かまち）を接合するネジが無かったことから、組み立て時において、ネジを締め忘れ、さらに組み付け状態を確認しないまま出荷したため、ドア枠の接合部が外れたものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者は今後は製品の製造数と部品数管理の実施及び製品組み立て後の確認を徹底することとしている。	(受付:2009/05/14)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	経 済 産 業 省 又 は 消 費 者 庁 受 付 年 月 日
A201000048 2010-0321 2009/08/24 (事故発生地) 京都府	はしご（アルミニウム合 金製） 巴化成工業株式会社 L-400	1名が死亡した状態で発見された。現場 に折損した当該製品があった。 (死亡)	○当該製品は、2本の支柱を連結している長さ 4 mの一本はしごで、接続部付近で折損してい いた。 ○折損は、接続部のボルトの通し穴部分で生じ ており、破面は衝撃で一気に折損したものと認 められた。 ○破面にはき裂や異物等の欠陥は認められなか った。 ○支柱の寸法・材質に異常は認められなかった 。 ○同等品について強度を確認したところ、異常 は認められなかった。 ●当該製品に許容応力を超える何らかの強い衝 撃力が加わったため折損したものと推定される が、使用状況が不明なため、製品起因か否かも 含め、事故原因を特定することはできなかった 。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2010/04/15)
A201000303 2010-1371 2010/07/02 (事故発生地) 茨城県	介護ベッド 株式会社モルテン MMPR91WN	建物が全焼する火災が発生し、1名が負 傷した。現場に当該製品があった。 (火災 重傷)	調査の結果、 ○当該製品の底面に設置されたマルチタップの タップ部及び高さ調整用アクチュエーターにつ いては、焼損もしくは回収されなかったことか ら確認できなかった。 ○角度調整用アクチュエーターの電源プラグは 片刃が溶断していた。もう一方の片刃は熱の影 響を受けておらず、電源コードに溶融痕等の異 常は認められなかった。 ○ベッドを下降させると電源プラグに接触する 位置に木箱が置かれており、木箱の焼損物につ いて確認したが、事故原因の特定に繋がるもの は認められなかった。 ○電源プラグの接触不良による再現試験の結果 、刃の溶断は再現されなかった。 ●事故原因は、当該製品の下に置かれていた木 箱が角度調整用アクチュエーターの電源プラグ に接触し、電源プラグの片刃が接触不良を起こ したものと推定されたが、再現試験では再現さ れず、出火元は不明であり、製品起因か否かも 含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視して いくとともに、必要に応じて対応を行うこ ととする。	(受付:2010/07/09)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200800258 2008-1088 2008/05/26 (事故発生地) 山形県	一輪車 トーエイライト株式会社 T-1161	当該製品乗車中にペダルが脱落し、バランスを崩したため、転倒し左肘を複雑骨折した。 (重傷)	調査の結果、当該製品のサドルが本体に対して、前後逆向きに取り付けられて使用していたため、前方向にペダルを漕いでも、通常とは逆方向にペダルを回転させることとなり、継続的にペダルが逆回転されたことにより、ペダル固定ネジが緩む方向に力が加えられ、ネジが外れ、ペダルが脱落したことにより負傷したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/06/11)
A200900670 2009-2407 2009/11/05 (事故発生地) 東京都	自転車 ナショナル自転車工業株式会社(現 ハナソニックサイクルテック株式会社) B-GBH743	当該製品で走行中、シートポスト（サドル支柱）が折損し、転倒したため、重傷（肘骨折）を負った。 (重傷)	調査の結果、 ○当該製品のシートポスト（サドル支柱）がサドル取付部付近で破断しており、破面観察の結果から疲労破壊による破断が認められた。 ○当該製品には、シートポスト（サドル支柱）の破断部以外に異常は認められなかった。 ○破面に異物などは認められなかった。 ●事故原因は、過大な力が当該製品のサドル部に付加され亀裂が生じ、その後の使用により徐々に破壊が進展し、最終的に破断したものと推定されるが、サドル部にいつ、どのような状況で過大な力が付加されたのかは不明であり、製品起因か否かも含め原因の特定はできなかった。 。なお、材料についてはJIS規格を満足していた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/11/20)
A201000241 2010-1202 2010/05/27 (事故発生地) 大阪府	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル株式会社 NA63LP	当該製品で走行中、フレームが折損して転倒し、負傷（足甲骨折）した。 (重傷)	調査の結果、 ○当該製品のアルミ合金製フレームのメインパイプ中間部で破断が認められた。 ○破断面では、下部に生じた亀裂を起点に上方へ疲労破壊が半周程度進展しており、上部で一気に破断した様相が認められた。 ○亀裂の起点部には、打痕や加工不良などの痕跡が認められなかった。 ○フレームの硬さや寸法は設計どおりであった。 ●事故原因は、当該製品のフレームのメインパイプ下部に生じた亀裂が起点となり、使用時の荷重や振動により亀裂が進展していたため、事故時にペダルを踏み込んだ際の荷重でフレームが破断し、事故に至ったものと推定されるが、メインパイプ下部に亀裂が生じた原因は不明であり、製品起因か否かも含め原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2010/06/21)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A200800217 2008-0987 2008/04/24 (事故発生地) 東京都	美容用具 株式会社ニッセン 吸引&記憶ブラ「ダイナマイトメイカー」	当該製品を使用していたところ、肌に接触していた部分が赤くなりかゆみが出たため使用を中止した。 (重傷)	事故原因は、通気性のない当該製品を長時間装着したことにより、接触面の吸引力と皮膚の発汗等により炎症が生じたものと考えられる。また、使用時間に関する説明が不十分であったことも影響している。	事業者は、事故発生後に販売する製品の取扱説明書に追加記載し、購入者にも補足説明書を送付した。	(受付:2008/06/02)
A200800259 2008-1089 2008/04/17 (事故発生地) 千葉県	靴補修剤 国際技術貿易株式会社 シューゲー	当該製品を底面に塗布した新品の靴を履き、室内でエアロビックスをしていたところ、滑って転倒し足首を捻挫した。使用者は滑り止めの効果もあると説明されている当該製品を靴底全面に塗布して使用されていた。 (重傷)	調査の結果、当該製品を靴底全面に塗布した場合、濡れている床では乾燥した床に比べて摩擦係数が半減し、滑りやすくなったものであったが、このような使用方法に関する注意表示は記載されていなかった。	なお、輸入事業者では、当該事故を受け、滑り止めとして使用する際の注意事項及び濡れている所での転倒の危険性について表示することとした。	(受付:2008/06/11)
A200801400 2008-4697 2009/01/05 (事故発生地) 愛知県	湯たんぼ（ゴム製） 株式会社レクリ アニマル湯たんぼ	当該製品を使用中に足で触ったところ、割れて足に火傷を負った。 (重傷)	調査の結果、製造時から当該製品の止め口の表面に傷があったことと、材料のゴムに老化防止剤が配合されていなかったため、製造から5年が経過したことで、ゴムの劣化が促進されて強度が低下した。そのため、使用時に触れた際、破損し、熱湯が漏れ、負傷したものと考えられる。	事業者は、平成23年4月15日にホームページに情報を掲載し、対象製品について直ちに使用を中止するよう呼び掛けている。	(受付:2009/03/26)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200800098 2007-7027 2008/03/12 (事故発生地) 北海道	ウォーキングマシン 株式会社リティースポーツ ・インダストリー DR-1230W	当該製品を使用中に突然走行ベルトの動きが高速になり転倒し、顔と右肩を打撲した。 (重傷)	調査の結果、他の電気製品等の電源を入切する際に発生したノイズが、当該製品の電源コードから伝搬し、走行ベルトが誤作動して、高速に動作したことにより使用者が、転倒し負傷したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/04/25)
A200800658 2008-2838 2008/06/06 (事故発生地) 神奈川県	折りたたみ椅子 コーナン商事株式会社 サザンポート コンパクト チェアー	当該製品を使用していたところ、座面を支えるパイプが外れたため、使用者が転倒し、重傷を負った。 (重傷)	調査の結果、コの字型の脚部パイプの両端の折り曲げ部分に座面を支えるパイプを挿入して接合する構造であったが、脚部の折り曲げ部分の一方が設計寸法よりも短かったため、使用に伴うたわみ等の影響で接合部分が外れたものと考えられる。	事業者は、同様の事故の再発防止のため、脚部と座面部分のパイプが一体でコの字型でパイプの接合部分は座面下の中央となるよう設計変更をおこなった。	(受付:2008/10/02)
A200800684 2008-3041 2008/08/02 (事故発生地) 北海道	花火（打ち上げ花火） 共栄煙火株式会社 S001265	当該製品に点火したところ、1、2発目は正常に打ち上がったが、3発目は本体が転倒しなかったものの、低く横方向に飛び、5m離れた場所で見ている人が左手に火傷を負った。当該製品は外筒の中に3本の打ち上げ内筒が組み込まれている構造である。 (重傷)	事故原因は、内筒の傾斜や構造（発射用火薬と打ち上げ筒との空間）に不具合があり、打ち上げ筒が外筒の内壁に接触し、火塊が横方向に飛び出したものと考えられる。ただし、当該製品の打ち上げ筒と発射火薬との空間を確認することが出来なかったため、事故原因を特定することができなかった。なお、事業者は、平成21年8月以降、製品の販売を中止した。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/10/08)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200900086 2009-0410 2008/11/08 (事故発生地) 岩手県	運動器具 野村貿易株式会社 BT-630	当該製品を使用していたところ、中央の支柱が破損して転倒し、重傷を負った。 (重傷)	○当該製品は、支柱をボルトを用いて固定させる本体上部の接続金具のボルト穴付近が破断・変形していた。 ○ボルト穴の破損部に、事故時に過大な荷重が加わったことを示す痕跡が認められた。 ○使用者体重の1.5倍を超える荷重を1000回繰り返し加えても、各部に破損や変形は生じず、同等品と比べて硬さには問題は認められなかった。 ●当該製品に使用時に過大な力が加わったことにより破損したものと推定されるが、事故当時の詳細な使用状況が不明であるため、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/04/28)
A201000075 2010-0575 2010/03/16 (事故発生地) 大阪府	ピアノ ヤマハ株式会社 アップライトピアノU3H	当該製品を移動中、当該製品が転倒し、当該製品と床との間にはさまれ、2名が負傷した。 (重傷)	調査の結果、当該製品の鍵盤側を上を持ち上げる力が加わったことにより、当該製品が背面側に転倒し、負傷したものと考えられる。なお、当該製品の移動を子どものみで行っており、取扱説明書等に当該製品の移動に関する注意事項の記載が不足していたことも原因と考えられる。	ヤマハ株式会社では、製品の転倒防止用補助具の製造・販売を行うとともに、学校等に対して移動時の転倒に関し、注意喚起を行うこととしている。	(受付:2010/04/23)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A200800727 2008-3110 2008/09/12 (事故発生地) 埼玉県	ベビーカー 株式会社日本育児 NEWベビーズ5	当該製品に乳児を乗せて、角を曲がる際にチャイルドシート部分が傾き、乳児が投げ出されるように落下して重傷を負った。当該製品には、取り外しのできる同社製で別売りの着脱式シート（乳児用）が取り付けられていた。	事故原因は、当該製品と着脱式シートの固定が不十分な状態で、かつ、ショルダーベルトと股ベルトを付けずに使用したため、走行中の遠心力によりシートが脱落し、乳児がシートから投げ出され負傷した使用者の不注意によるものと考えられる。ただし、当該製品の取扱説明書にシートの固定方法についての詳細な記載がされておらず、また、シートが固定されているか確認する旨の注意表示も不足していた。	事業者は事故発生後に販売する製品について、シートの取り付けに関する警告ステッカーを本体に添付し、取扱説明書にも追加記載した。	(受付:2008/10/20)
A200800734 2008-3257 2008/10/18 (事故発生地) 広島県	子供用いす（ハイチェア） 株式会社カトージ 乳幼児用ハイチェア II b 型	幼児が当該製品に座って食事をしていたところ、テーブルが外れたため、転落し重傷を負った。	○当該製品に破損、折損は認められなかった。 ○当該製品は同等品に比べテーブルの両パイプ間の幅が3mm広い状態で、組み立てた際に肘掛けと、テーブルパイプとの間にすき間が生じていた。 ○テーブル部に前後、左右、下方向に各々200Nの荷重を加えてもテーブルは外れなかった。 ●当該製品は組み立てた状態で肘掛けとテーブルパイプとの間に、2.2mmの隙間が生じていたが、事故当時の詳細な状況が不明であり、また製品の強度には問題は認められないことから、製品起因か否かも含め、事故原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/10/23)
A200900677 2009-2399 2009/09/01 (事故発生地) 神奈川県	ベビーカー 野村貿易株式会社 ヴォロー	当該製品を開いたところ、当該製品で子供が指をはさみ重傷を負った。	事故原因は、折りたたみ式の当該製品のヒンジ部分が当該製品を開閉する際に指が挟み込まれる可能性がある構造であったこと及び当該製品を開く際に幼児が当該ヒンジ部分に手を掛けていることに気付かず開いたためと考えられる。	野村貿易株式会社が輸入した製品について平成21年11月16日にホームページに掲載し、注意喚起を行うとともに、ヒンジ部分をカバーする部品の無償配布を実施している。	(受付:2009/11/24)